

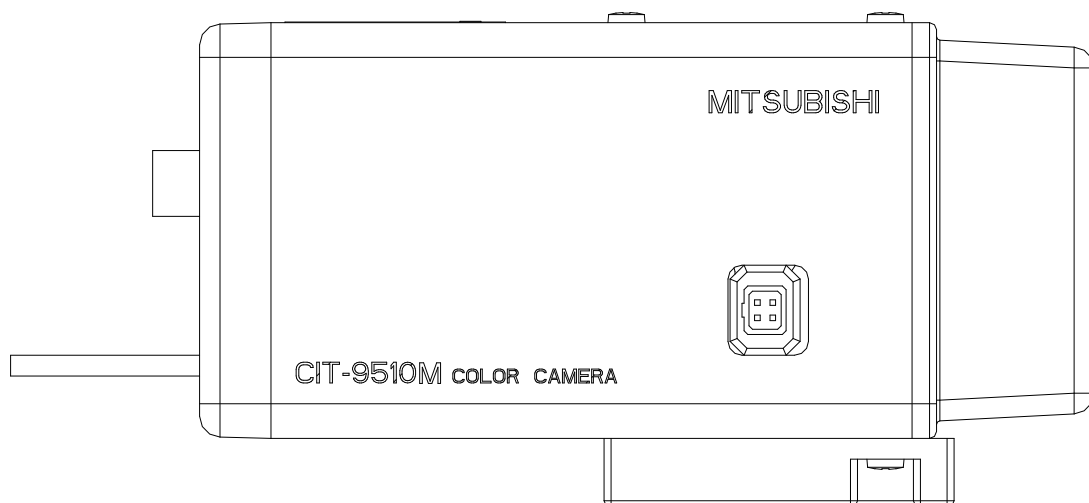
mitsubishi

カラーカメラ

形名

CIT-9510M

取扱説明書 / 保証書



このたびは三菱カラーカメラをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

[もくじ]






安全のために必ずお守りください	3
特長	6
構成	7
各部の名称	8
使用レンズについて	10
レンズの選定方法	11
カメラの設定	12
設定項目（メニュー）詳細説明もくじ	12
設定項目フローチャート	14
工場出荷時設定	16
各シーンの初期値	17
[電子ズーム機能について]	21
[文字表示機能について]	23
[逆光補正用測光枠について]	33
[S F Vについて]	34
[高速シャッターについて]	44
[手動電子増感機能について]	44
[デジタルノイズリダクションについて]	46
[自動電子増感機能について]	50
[フリッカについて]	66
[対応照明の選択「LIGHT」について]	71
[ホワイトバランスについて]	81
[マスキング機能について]	91
接続のしかた	94
CCDの傷について	95
お手入れのしかた	95
故障かな？と思ったら	95
保証とアフターサービス	95
仕様	96
外形図	97

安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く
	水場での使用禁止		

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

万一異常が発生したら、電源をすぐ切る！



映像が出ない、煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。このようなときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理のご依頼を。

異物をいれない



金属類や燃えやすいものなどが入ると火災の原因となります。万一異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡を。

水気の多い場所では使わない



水気の多い場所での使用は、内部に異物や水などが入ると、火災の原因となります。万一内部に異物や水が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡を。

ご使用は指定の電源電圧で



表示された電源電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。

ケースははずさない。改造しない



本機の内部にさわったり、改造すると火災の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼を。

強度が十分なところに取付ける



ぐらついた台の上や傾いた所、弱い壁面、天井などの不安定な場所に取付けないこと。またバランス良く取付けること。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。取付けは販売店にご依頼を。

雷が鳴り出したら電源を切る



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

次のような置きかたはしない

火災・感電の原因となることがあります。
湿気やほこりの多い所。水、油煙のかかる所。

風通しの悪い所、狭い場所に押し込む。
じゅうたんや布団の上に置く、布などをかける。
熱器具のそば。

壁や天井に近付きすぎ。(設置の際は、壁や天井から10 cm以上離してください。)



重い物をのせない、無理な力を加えない

本機の上に重い物を置かないこと。置くとバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機に無理な力を加えないでください。無理な力を加えると壊れたり、落下してけがの原因となることがあります。

特にお子さまにはご注意ください。



同軸ケーブルを傷つけたり、加工しない

重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと。
ケーブルが破損します。

ケーブルに傷がついたまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災・感電の原因となることがあります。
ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡を。



移動させる場合は外部の接続線はずす

同軸ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる時は同軸ケーブル、機器の接続をはずしたことを確認してください。



定期的にお掃除を

販売店におまかせください。定期的な掃除は火災・故障を防ぎます。

特に梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。



長期間ご使用にならないときは

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。



国外での使用禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。
外国では使えません。

This equipment is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.



車載用機器ではありません

衝撃、振動のある所に設置すると故障の原因となります。

例) 車両、船舶、航空機、機関室、工事用機械など。



お願い

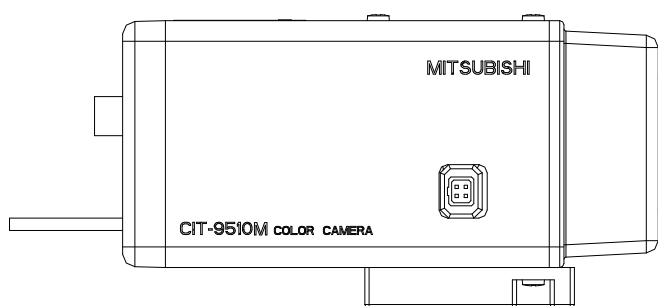
<p>持ち運びはていねいに 本機は落下すると破損する可能性があります。持ち運びは十分に注意して行ってください。</p>	<p>本体のお手入れは お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。</p>
<p>ケースを傷めないために ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因となります。 【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】</p>	<p>レンズ及びレンズカバーのお手入れは ほこりや汚れが付着した場合は、レンズクリーナーやエチルアルコールなどを用いて表面にキズが付かないようにレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラ等の清掃に使うもの）で拭き取ってください。</p>
<p>使用温度範囲でご使用を 本機の使用周囲温度は-10 ~ +50 です。使用周囲温度外でご使用になると故障の原因となることがあります。</p>	<p>カメラを太陽に向けないで カメラを使用しているとき、使用していないときにかかわらずカメラを太陽に向けないでください。</p>
<p>強い光を映さないで 映した映像の一部にスポット光のような強い光があるとスミア（縦縞）やブルーミングを生じることがありますのでさけてください。 強い光により画面にスミア（縦縞）やブルーミングは生じますが故障ではありません。</p>	<p>ケーブルは最大延長距離以内で カメラとマトリクススイッチャなどの間は 5C-2V で最長 1200m 以内で接続してください。1200m を超えて接続しますと、同軸ワンラインを通じての制御が行えなくなります。 カメラとマトリクススイッチャなどの間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなります。</p>

特長

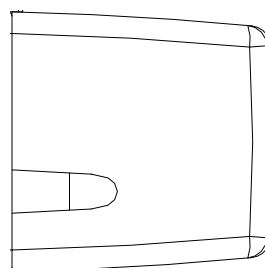
- 高解像度、高画質
有効画素数約 38 万画素（水平 768 × 垂直 494）採用により、水平解像度 480 本以上の鮮明な映像が得られます。
- スーパーファインビュー機能
撮像範囲の中で、それぞれ照度の異なる被写体や背景及び周囲の画像データを分析し、最適画質を自動生成します。
- カラー / 白黒切替機能
周囲の明るさによって、明るい時はカラー映像、暗い時は白黒映像に自動的に切り換わり、暗い中でも見易い映像が映し出されます。手動での切り換えも可能です。
- グラデーション機能
映像の階調特性を設定することで、より見易い映像を映し出すことが可能です。
- ピーク測光機能
部分的に明るい被写体を見やすくすることが可能です。
- イージーフィッティング機能
店舗出入口、屋外駐車場、駅ホーム、ビル内廊下、ATM 等、経験的にカメラの画質設定が容易でない撮像環境に対し、輝度や色調等 1 2 つのパラメータを予め標準設定し、ワンタッチで画質設定できます。
- 電子ズーム機能
カメラコントローラ（S-9520S、X-9620S など）にリモートコントローラ（R-2450 など）を組み合わせれば、拡大して確認したい箇所を 2 倍までズームアップできます。
- 高感度
40 倍の電子増感により、0.002[lx]（白黒時）の最低被写体照度を実現します。
- エリア選択逆光補正機能
画面上で 15（水平）× 15（垂直）マスから逆光補正したいエリアを選択して、見たい所を鮮明に映し出します。
- 集音機能
カメラ内にマイクを内蔵しており、集音が可能です。同軸ケーブルに音声信号を重畳しますので音声用別線が必要ありません。ただし、音声再生には、カメラコントローラなどに音声カード（別売）を接続することが必要になります。
- オートホワイトバランス機能
CPU 制御によるオートホワイトバランスにより、安定した色再現性が得られます。また、ホワイトバランスの微補正設定機能や水銀灯などに対する自動色補正機能があります。
- 文字表示機能
12 桁のカメラ ID 表示機能を装備しています。表示位置の選択（6 ヶ所）も可能です。
- マスキング機能
画面上で 40（水平）× 30（垂直）マスから表示を隠したいエリアを選択して、グレー表示をすることで画面のマスキングを行うことができます。最大 3 箇所のエリアを独立して設定可能です。
- 電子シャッター機能
高速で移動する被写体を鮮明にとらえるために、シャッタースピードを 1/60 ~ 1/10000 s の 8 段階に切り換えられる電子シャッターを装備しています。
- フリッカキャンセル
電源周波数 50Hz 地域での蛍光灯下などでの撮影時に発生する画面のチラツキ（フリッカ）を軽減する機能を装備しています。シャッター速度 1/60s で動作しますので、フリッカレスシャッター（1/100s）のように感度が低下することがありません。

構成

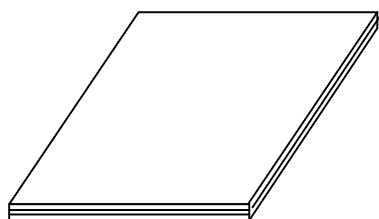
- 1. CIT-9510M 形カメラ本体 ----- 1
- 2. レンズカバー（固定焦点レンズ用） ----- 1
- 3. 取扱説明書 / 保証書(本書) ----- 1
- 4. 据付工事説明書 ----- 1
- 5. カメラ取付足 ----- 1
- 6. カメラ取付足取付用ネジ ----- 4



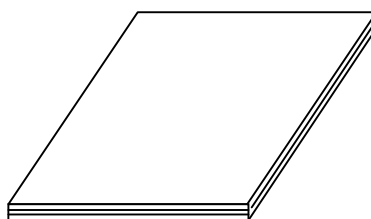
カメラ本体



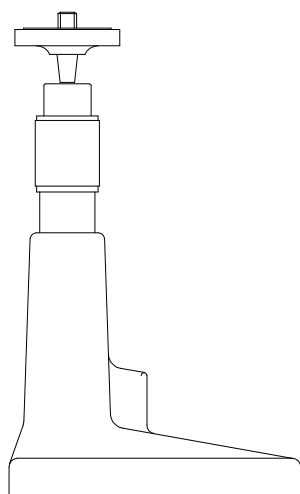
レンズカバー



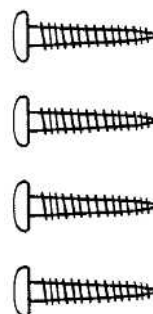
取扱説明書 / 保証書（本書）



据付工事説明書

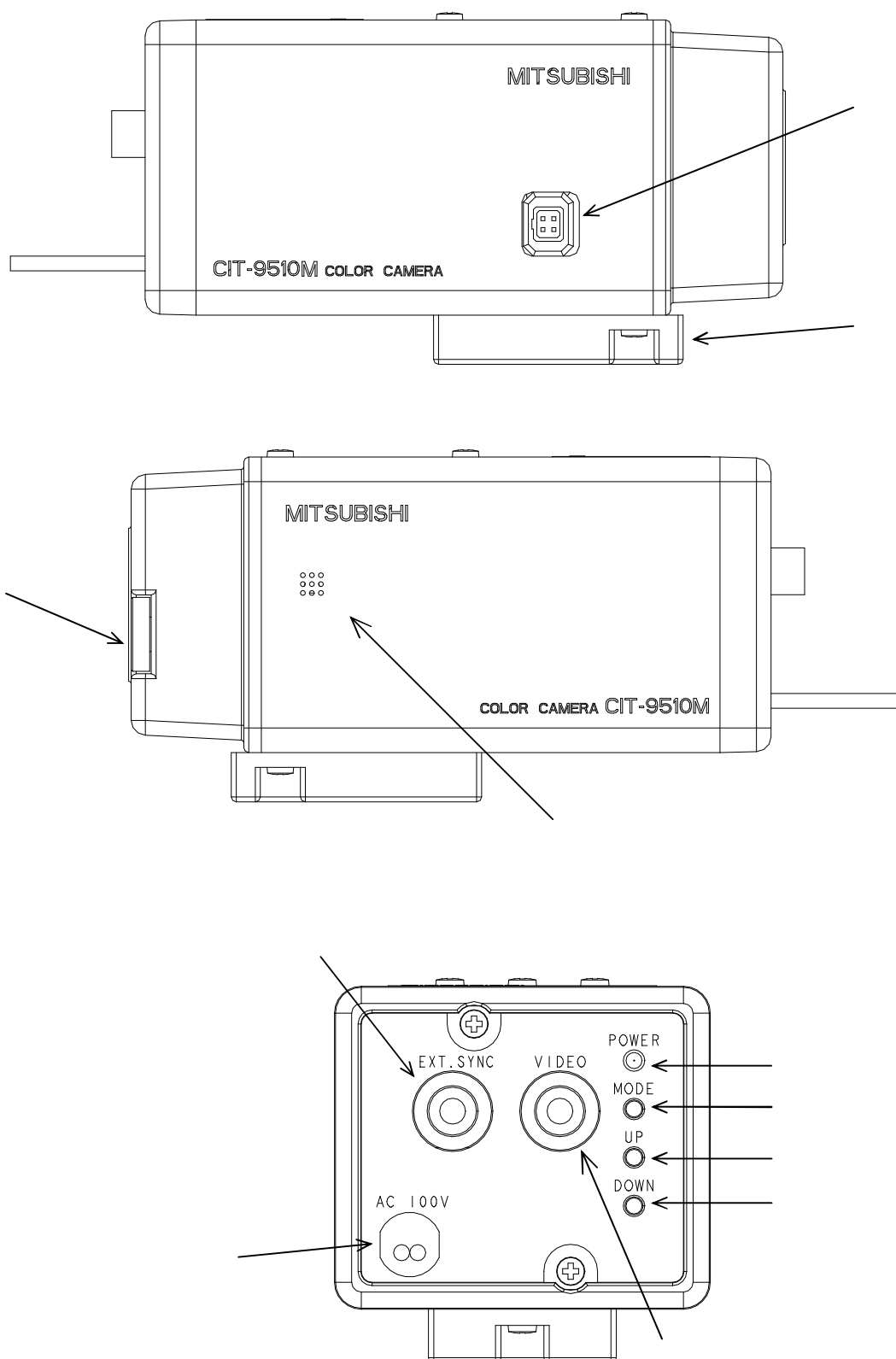


カメラ取付足
(A - 5 6 2 4)



カメラ取付足取付用ネジ
(M 3 × 2 0)

各部の名称



レンズコネクタ

レンズのコネクタを接続します。

フランジバック調節リング

レンズのフランジバック（バックフォーカス）を調節するときに回します。CSマウントのレンズに対応しています。

絶縁取付アダプタ

カメラ取付足を取付けるときに使用します。

音孔

音声の入力孔です。マイクが内蔵されています。

電源表示LED（POWER）

電源が入っているとき点灯します。

モードスイッチ（MODE）

カメラの設定項目を選択、決定するスイッチです。

アップスイッチ（UP）

設定項目の選択、及び設定値をH方向（右方向、番号の増加方向）に設定するスイッチです。

ダウンスイッチ（DOWN）

設定項目の選択、及び設定値をL方向（左方向、番号の減少方向）に設定するスイッチです。

映像出力端子（VIDEO）[BNC]

映像信号を出力します。ビデオ受像機などの映像入力に接続します。また、マトリクススイッチャに接続することによりカメラ設定を行う制御信号の入出力、及びビデオ信号多重外部同期信号を入力します。

外部同期入力信号（EXT. SYNC）[BNC]

外部同期信号を入力します。このコネクタからは下記の信号で外部同期がかけられます。

1)複合映像信号[VBS]（ $1.0 \pm 0.2V_{p-p} / 75$ ）

2)複合同期信号[BS]（ $0.3V_{p-p} / 75$ 負極性）

規格RS-170相当でない信号が入力されたときは正常な画像が得られない場合があります。

電源ケーブル（AC100V）

AC100Vのコンセントにプラグを接続します。電源電圧はAC100V \pm 10%でご使用ください。

電源周波数は50Hzまたは60Hzです。

使用レンズについて

- レンズは必ずDC駆動タイプをご使用ください。（下表より選定してください）

CIT-731/733 で使用していたビデオ駆動のズームレンズは使用できませんのでご注意ください。

下表以外のレンズを使用した場合はハンチング等の不具合が生じる可能性があります。

（次ページにレンズ選定方法の詳細説明がありますのでご参照ください。）

- 万が一ハンチングが発生した場合は、カメラ設定「MICSPEEDメニュー」（P93）をご覧ください。
- 付属のレンズカバーは、固定焦点レンズ使用時に装着できます。

バリフォーカルレンズのレンズカバーは、バリフォーカルレンズに同梱しています。

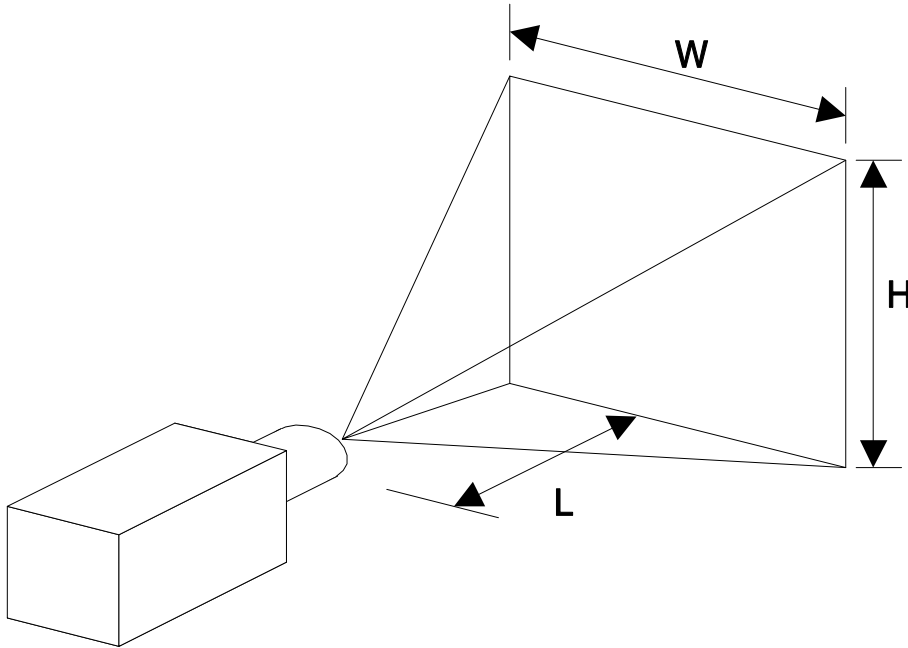
形名 レンズ種別	焦点 距離	最大 口径比	絞り	包括角度		至近 距離	マウ ント	フィルタ サイズ	外形 寸法	質量
				水平	垂直					
TG2813FCS-3 超広角 ND 付 EE	2.8 mm	1:1.3	F1.3 ~ 360	91.1°	70.0°	0.2m	CS	M30.5 P=0.5 mm	32.0 × 39.8 × 33.0 mm	41g
TG0412FCS-3 広角 ND 付 EE	4 mm	1:1.2	F1.2 ~ 360	63.9°	49.1°					38g
TG0812FCS-3 標準 ND 付 EE	8 mm			34.7°	25.9°					0.4m
C-3V2R9F8NIR 近赤外光対応 バリフォーカル	2.9 ~ 8 mm	1:0.95	F0.95 ~ 360	94.37° ~ 35.18°	69.30° ~ 26.26°	0.3m			33.5 × 51.3 × 42.0 mm	45g
T6Z5710A1DC-CS C B C (株) 製 6倍手動ズーム	5.7 ~ 34.2 mm	1:1.0	F1.0 ~ 360	45.9° ~ 8.1°	34.8° ~ 6.2°	1.2m	CS	M49 P=0.75 mm	53 × 64 × 82.5 mm	295g
T6Z5710DC-CS C B C (株) 製 6倍ズーム	5.7 ~ 34.2 mm								68.5(W) × 76.3(H) × 82.5(D) mm	440g
T6Z5710PDC-CS C B C (株) 製 6倍プリセットズーム	5.7 ~ 34.2 mm								480g	
TS10ZME-3(DC) ペンタックス プレジジョン(株)製 10倍ズーム	5.8 ~ 58 mm	1:1.2 (広角)	F1.2 ~ 360	44.0° ~ 4.78°	33.8° ~ 3.62°	1.8m			64.6(W) × 70.3(H) × 85.0(D) mm	380g
TS10ZME-3P(DC) ペンタックス プレジジョン(株)製 10倍プリセットズーム	5.8 ~ 58 mm	1:1.7 (望遠)							430g	

(2005年11月現在)

注) C-3V2R9F8NIR (近赤外対応バリフォーカル) 以外のレンズを使用する場合、カラー白黒切替時にフォーカスがずれることがあります。

レンズの選定方法

- 被写体の大きさ、被写体までの距離でレンズを選定できます。
レンズの焦点距離による撮像範囲は、以下の計算式で求めることができます。



$$H = \frac{3.6}{f} \times L \quad , \quad W = \frac{4.8}{f} \times L$$

3.6 : 1 / 3 型 C C D 撮像面の高さ [mm]

4.8 : 1 / 3 型 C C D 撮像面の幅 [mm]

W : 被写体の幅 [m]

H : 被写体の高さ [m]

L : 被写体までの距離 [m]

f : レンズの焦点距離 [mm]

注) 計算で得られた f 値に合致しない場合、計算値の焦点距離より短い焦点距離 (広角側) のレンズを選定します。

例) 4 m (L) 先にいる身長 1.8 m (H) の人物を画面いっぱいに撮像できるレンズ焦点距離を求めます。

$$f = \frac{3.6 \times 4}{1.8} = 8 \text{ [mm]}$$

最適レンズは f = 8 [mm] となります。

カメラの設定

- 各設定項目（メニュー）は、下記より各説明ページをご参照ください。各設定項目（メニュー）の構成は P.14 の設定項目フローチャートをご参照ください。

設定項目（メニュー）詳細説明もくじ

調整項目選択メニュー (ADJ ITEM)	18
1 . S Y S T E M	19
水平同期位相調整 (H SYNC)	20
電子ズームの設定 (E ZOOM)	21
カメラ ID 表示の選択 (ID DISP)	22
カメラ ID 表示の設定 (ID)	23
電子増感倍率表示の設定 (GAIN)	24
カメラ ID 表示及び電子増感倍率表示の設定 (ID&GAIN)	24
カメラ ID の設定 (ID SET)	25
カメラ ID 表示位置の設定 (ID PLACE)	26
電子増感倍率表示位置の設定 (GAIN PLACE)	27
マイクの選択 (MIC)	28
初期化の選択 (INITIAL)	28
2 . Y C O N T R O L	29
アイリスモードの選択 (IRIS SEL)	30
逆光補正の設定 (SPOT)	30
測光枠のサイズ、位置設定 (WINDOW)	31
水平方向の測光枠サイズ設定 (WIDTH H)	32
垂直方向の測光枠サイズ設定 (WIDTH V)	32
水平方向の測光枠位置設定 (LOCATE H)	32
垂直方向の測光枠位置設定 (LOCATE V)	32
スーパーファインビュー機能の設定 (SFV)	34
スーパーファインビュー機能 詳細設定の選択 (SFV SET)	35
スーパーファインビュー機能 高速側シャッター速度の設定 (SSHT SEL)	36
スーパーファインビュー機能 高速側シャッターレベルの設定 (SSHT LEVEL)	36
スーパーファインビュー機能 高速側最大シャッター速度の設定 (MAX SSHT)	37
ピーク測光モードの設定 (PEAK)	38
ピーク測光モード 詳細設定の選択 (PEAK SET)	39
ピーク測光モード 高輝度出力レベルの設定 (BRIGHT REV)	40
ピーク測光モード 暗部出力レベル補正の設定 (DARK REV)	40
ゲインコントロールの選択 (GAIN SEL)	41
MGC の選択 (MGC)	41
MGC の設定 (MGC SET)	42
MGC 時電子増感倍率又はシャッター速度の設定 (SHUTTER)	43
MGC レベルの設定 (MGC LEVEL)	45
アイリスの設定 (IRIS LEVEL)	45
MGC 時デジタルノイズリダクションの選択 (DNR)	46
AGC の選択 (AGC)	47
AGC の詳細設定の選択 (AGC SET)	48
AGC 時電子増感倍率又はシャッター速度の選択 (SHUTTER)	49
自動電子シャッターの設定 (AUTO)	50
自動電子シャッター詳細設定の選択 (AUTO SET)	51
AGC 最大倍率の設定 (MAX GAIN)	52
電子増感 1 倍時シャッター速度の設定 (x1 SHUTTER)	52
電子増感切替レベルの設定 (x1 SLOW)	53
AGC レベルの設定 (AGC LEVEL)	53
AGC 最大ゲインレベルの設定 (MAX AGC)	54
ゲインレベルアップの選択 (AGC BOOST)	54
AGC 時デジタルノイズリダクションの選択 (DNR)	55
白黒/カラー自動切替の選択 (BW/COLOR)	56
白黒モード設定の選択 (BW)	56
カラーバーストの設定 (BW SET)	57
白黒時カラーバーストの選択 (BURST)	57

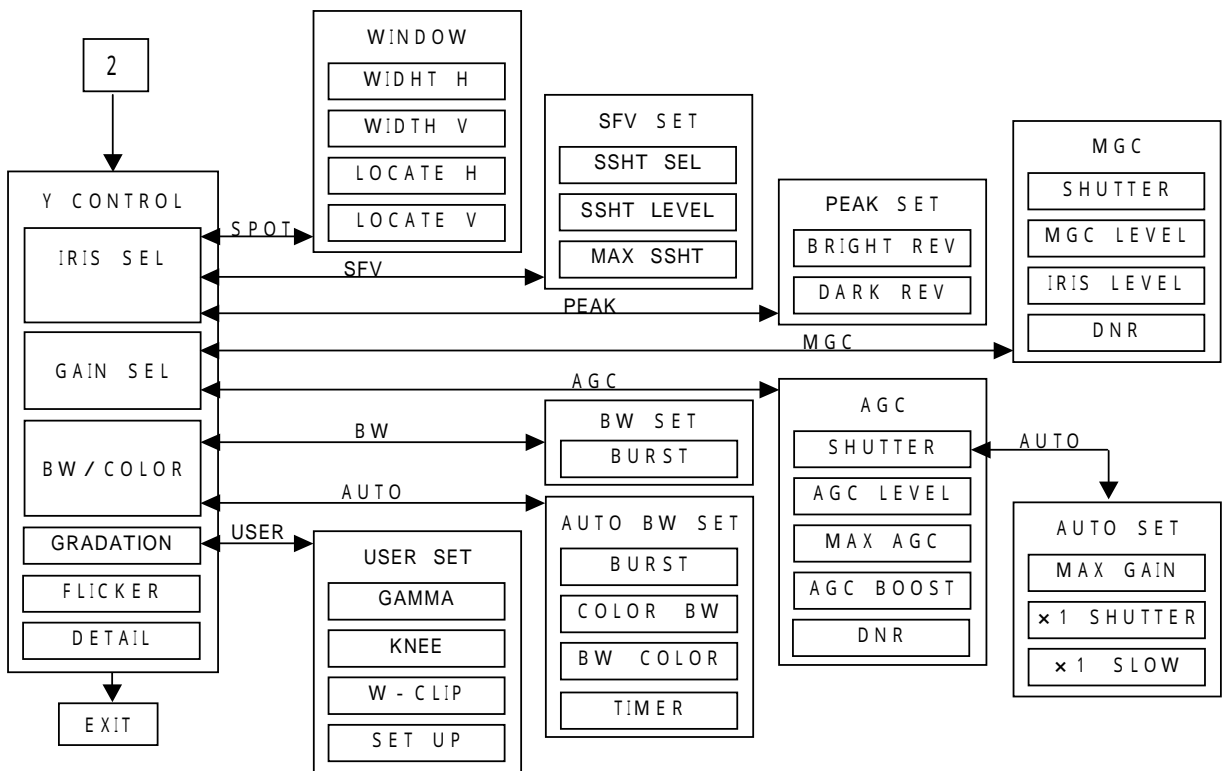
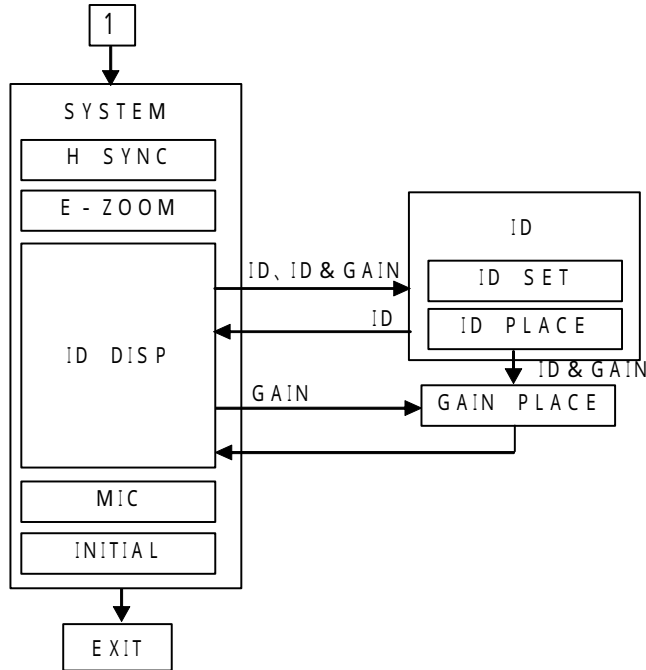
自動切換設定の選択 (AUTO BW)	-58
自動切換詳細設定項目の選択 (AUTO BW SET)	-59
自動切換時カラーバーストの選択 (BURST)	-60
カラー 白黒切換レベルの設定 (COLOR BW)	-60
白黒 カラー切換レベルの設定 (BW COLOR)	-61
切換判定時間の設定 (TIMER)	-61
映像信号の設定 (GRADATION)	-62
ユーザーによる映像信号設定の選択 (USER)	-62
ユーザーによる映像信号詳細設定の選択 (USER SET)	-63
ガンマの設定 (GAMMA)	-64
ニーの設定 (KNEE)	-64
ホワイトクリップの設定 (W-CLIP)	-65
セットアップレベルの設定 (SET UP)	-65
フリッカ補正機能の選択 (FLICKER)	-66
画質の調整 (DETAIL)	-67
3 . COLOR	-68
ホワイトバランスモードの選択 (WB SEL)	-69
オートホワイトバランス設定の選択 (AUTO)	-69
オートホワイトバランス詳細設定項目の選択 (AUTO WB SET)	-70
対応照明の選択 (LIGHT)	-71
スポット AWB の選択 (AWB AREA)	-72
スポット AWB の設定 (SPOT)	-72
スポット AWB 枠のサイズ、位置設定 (WINDOW)	-73
水平方向のスポット AWB 枠サイズ設定 (WIDTH H)	-74
垂直方向のスポット AWB 枠サイズ設定 (WIDTH V)	-74
水平方向のスポット AWB 枠位置設定 (LOCATE H)	-74
垂直方向のスポット AWB 枠位置設定 (LOCATE V)	-74
赤、シアン方向のオートホワイトバランス微補正 (AWB R-Y)	-75
青、黄方向のオートホワイトバランス微補正 (AWB B-Y)	-75
赤、シアン方向の色相の設定 (HUE R-Y)	-76
青、黄方向の色相の設定 (HUE B-Y)	-76
マニュアルホワイトバランス設定の選択 (MANU)	-77
マニュアルホワイトバランス詳細設定項目の選択 (MANU WB SET)	-78
赤、青方向のマニュアルホワイトバランス設定 (MWB R-Y)	-79
グリーン、マゼンダ方向のマニュアルホワイトバランス設定 (MWB B-Y)	-79
赤、シアン方向の色相の設定 (HUE R-Y)	-80
青、黄方向の色相の設定 (HUE B-Y)	-80
ホワイトバランスロックの選択 (AWB LOCK)	-81
濃淡の設定 (C LEVEL)	-82
クロマサプレスの設定 (SUPPRESS)	-82
4 . SCENE FIT (シーンの選択)	-83
ユーザー登録シーンの設定と ID 表示の選択 (USER*)	-84
ユーザー登録シーンの ID 設定 (ID SET)	-86
5 . MASKING	-87
マスキング表示 / 非表示の選択 (M1, M2, M3)	-88
マスキングのサイズ、位置設定 (M* WINDOW)	-89
水平方向のマスキングサイズ設定 (WIDTH H)	-90
垂直方向のマスキングサイズ設定 (WIDTH V)	-90
水平方向のマスキング位置設定 (LOCATE H)	-90
垂直方向のマスキング位置設定 (LOCATE V)	-90
6 . SPECIAL	
アイリス速度の設定 (MICSPEED)	-93

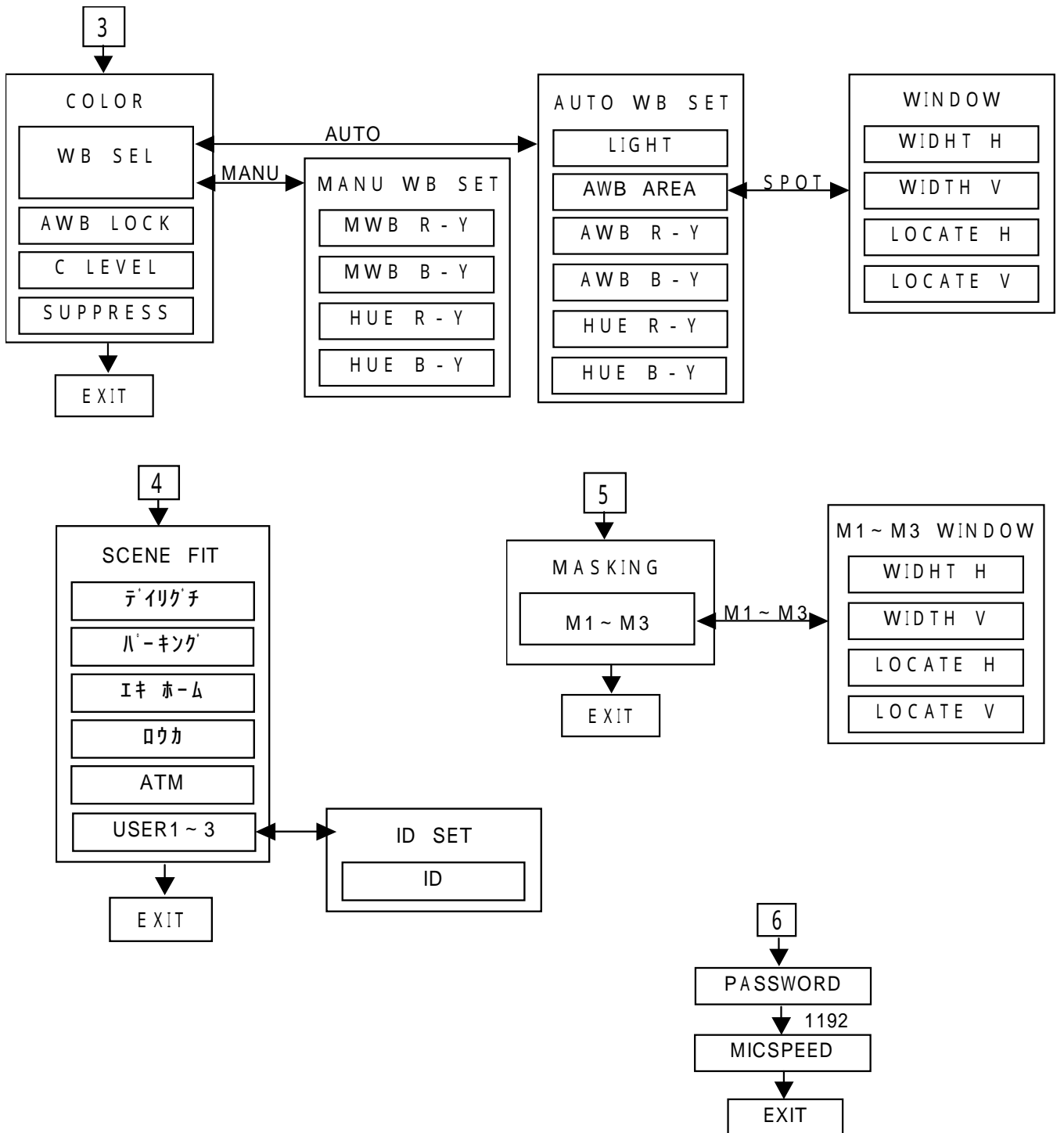
設定項目フローチャート

- 1 . SYSTEM
- 2 . Y CONTROL
- 3 . COLOR
- 4 . SCENE FIT
- 5 . MASKING
- 6 . SPECIAL

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

1 ~ 6 を選択すると、
それぞれ 1 ~ 6 へ遷
移します。





注：モード、アップ、ダウンスイッチの入力が約1分間無ければ自動的に設定メニューは終了します。このとき表示されていた画面の設定は記憶されません。記憶させる場合はモードスイッチを押してください。

工場出荷時設定

工場出荷時には、各設定項目は以下のように設定されています。工場出荷時の状態に設定を戻すときは、「INITIAL」メニュー（P.28）で設定してください。ただし、「4.SCENE FIT」メニューで「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」が選択されているときは、一部の設定項目のみ、各シーンの初期値（P.17）となります。

1 . S Y S T E M		FLICKER	OFF
H SYNC	OM	DETAIL	+7 (表示右端 から4つめ)
E ZOOM	ON		
ID DISP	OFF	3 . C O L O R	
ID SET	000000000000	WB SEL	AUTO
ID PLACE	中央下	LIGHT	ELECTRIC
GAIN PLACE	右下	AWB AREA	NORMAL
MIC	OFF	WIDTH H (SPOT)	9
INITIAL	EXIT	WIDTH V (SPOT)	9
		LOCATE H (SPOT)	4
2 . Y C O N T R O L		LOCATE V (SPOT)	4
IRIS SEL	NORMAL	AWB R-Y	0 (表示中央)
WIDTH H (IRIS)	9	AWB B-Y	0 (表示中央)
WIDTH V (IRIS)	9	HUE R-Y (AWB)	+12 (表示中央)
LOCATE H (IRIS)	4	HUE B-Y (AWB)	+12 (表示中央)
LOCATE V (IRIS)	4	MWB R-Y	0 (表示中央)
SSHT SEL	AUTO	MWB B-Y	0 (表示中央)
SSHT LEVEL	-17 (表示左端 から3つめ)	HUE R-Y (MWB)	+12 (表示中央)
		HUE B-Y (MWB)	+12 (表示中央)
MAX SSHT	1/8000	AWB LOCK	OFF
BRIGHT REV	7 (表示中央)	C LEVEL	+12 (表示中央)
DARK REV	8 (表示中央)	SUPPRESS	+12 (表示中央)
GAIN SEL	AGC		
SHUTTER (MGC)	1/60	4 . S C E N E F I T	
MGC LEVEL	0 (表示中央)	SCENE FIT	USER 1
IRIS LEVEL	0 (表示中央)	ID SET	USER *
DNR	AUTO 1		
SHUTTER (AGC)	AUTO	5 . M A S K I N G	
MAX GAIN	×40	M1	OFF
×1 SHUTTER	1/60	M2	OFF
×1 SLOW	0 (表示中央)	M3	OFF
AGC LEVEL	0 (表示中央)	WIDTH H (M1)	10
MAX AGC	+12 (表示右端)	WIDTH V (M1)	10
AGC BOOST	OFF	LOCATE H (M1)	8
DNR	AUTO 1	LOCATE V (M1)	4
BW/COLOR	COLOR	WIDTH H (M2)	10
BURST (BW SET)	ON	WIDTH V (M2)	10
BURST (AUTO BW SET)	ON	LOCATE H (M2)	24
COLOR BW	+30 (表示右端)	LOCATE V (M2)	11
BW COLOR	-30 (表示左端)	WIDTH H (M3)	10
TIMER	60	WIDTH V (M3)	10
GRADATION	NORMAL	LOCATE H (M3)	8
GAMMA	3 (表示中央)	LOCATE V (M3)	18
KNEE	7 (表示右端)		
W-CLIP	1 (表示左端 から1つめ)	6 . S P E C I A L	
SET UP	12 (表示右端 から1つめ)	PASSWORD	0000

各シーンの初期値

「4.SCENE FIT」メニューの「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」の初期値は以下の通りです。(工場出荷時設定と異なる部分のみ記載してあります)「4.SCENE FIT」メニューで「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」が選択されているとき、「INITIAL」メニューで「START」を選択すると、以下の設定に戻ります。

- ・ デイリグチ

- IRIS SEL : SFV
 - MAX GAIN : ×4

- ・ パーキング

- ×1 SLOW : +30
 - DETAIL : +15

- ・ エキ ホーム

- IRIS SEL : SFV
 - SSHT SEL : 1/1500
 - ×1 SLOW : +30
 - MAX GAIN : ×2
 - DETAIL : +30

- ・ ロウカ

- IRIS SEL : SPOT
 - WIDTH H : 5
 - WIDTH V : 5
 - LOCATE H : 6
 - LOCATE V : 10
 - ×1 SLOW : -30
 - FLICKER : ON
 - LIGHT(AWB) : NATURAL

- ・ ATM

- IRIS SEL : SFV
 - MAX GAIN : ×4
 - AGC LEVEL : +15

設定アイテムの選択

- モードスイッチを押すと、下記の設定アイテム画面が表示され、現在の選択されているアイテム番号が反転します。外部接続のカメラコントローラから下記の設定アイテム画面を表示する場合は、カメラコントローラの取扱説明書をご参照ください。

A D J I T E M

1 . S Y S T E M

2 . Y C O N T R O L

3 . C O L O R

4 . S C E N E F I T

5 . M A S K I N G

6 . S P E C I A L

アップ、ダウンスイッチでアイテム番号を選択後、モードスイッチを押すと、アイテム内部の各メニューへ遷移します。

外部接続のカメラコントローラから設定する場合、モード、アップ、ダウンスイッチは下記の通り対応します。詳しくはカメラコントローラの取扱説明書をご参照ください。

モード：[SHIFT]
アップ：[/ON]
ダウン：[/OFF]

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

1.SYSTEM : 19ページ
2.Y CONTROL : 29ページ
3.COLOR : 68ページ
4.SCENE FIT : 83ページ
5.MASKING : 87ページ
6.SPECIAL : 92ページ

「SYSTEM」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「1.SYSTEM」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                S Y S T E M

H   S Y N C           * * * * M
E   Z O O M           O N
I D   D I S P         O F F
M I C                   O F F
I N I T I A L         E X I T

E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

```

H SYNC : 20ページ
E ZOOM : 21ページ
ID DISP : 22ページ
MIC : 28ページ
INITIAL : 28ページ
```

「H SYNC」メニュー

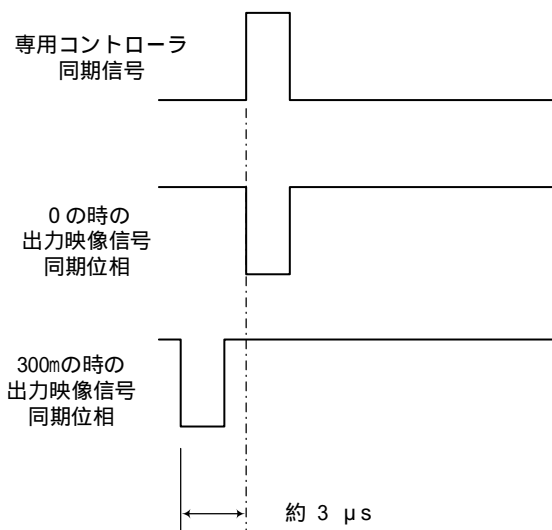
「1 . SYSTEM」メニューで「H SYNC」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

S Y S T E M									
H	S	Y	N	C	*	*	*	*	M
E	Z	O	O	M	O	N			
I	D	D	I	S	O	F	F		
M	I	C			O	F	F		
I	N	I	T	I	E	X	I	T	
E	X	I	T						

ケーブル伝送で発生する映像信号の遅延を補正します。専用コントローラ～カメラ間の接続距離に応じて設定します。****の位置に0～1200の数字が50ステップで表示されます。0の時、専用コントローラ同期信号に対し出力映像信号の同期位相がほぼ一致し、+方向では位相が進みます。50につき約0.5 μsec 位相が可変します。
 (例) 接続距離 = 300m : 300 を設定。

スイッチ説明

- UP : ****を0 1200まで50ずつUPします。
- DOWN : ****を1200 0まで50ずつDOWNします。
- MODE : 設定値を記憶し、「1 . SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ



注：上図は概念図であり、実際の波形とは異なります。

「E ZOOM」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「E ZOOM」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                S Y S T E M
                * * * * M
H      S Y N C      O N
E      Z O O M      O F F
I D    D I S P      O F F
M I C
I N I T I A L      E X I T
E X I T
```

電子ズーム機能をON/OFFすることができます。

スイッチ説明

UP/DOWN : 「ON」の表示を、ボタン押下毎に「ON」「OFF」「ON」・・・と遷移します。

MODE : 設定を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ

[電子ズーム機能について]

ON選択時、リモートコントローラ(R-2450)からのズーム操作によって、電子的に1倍～2倍の間でズームすることができます。また、現在のズーム倍率をプリセットすることができます。

(最大16ポジション)

注1) 電子ズーム動作時は解像度、S/Nが低下しますのでご注意ください。

注2) IRIS SEL設定がSFVの場合、電子ズームは強制的に1倍となります。

注3) リモートコントローラ(R-2450)を使用しないと、望遠、広角の制御はできません。

「ID DISP」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「ID DISP」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

S Y S T E M

H   S Y N C           * * * * M
E   Z O O M           O N
I D   D I S P         O F F
M I C                   O F F
I N I T I A L         E X I T

E X I T
```

画面に最大 12 文字までの ID (任意の文字列) を表示すること、電子増感倍率の表示を行うことができます。各設定内容は下記の通りです。

- [OFF] : ID 及び電子増感倍率の表示設定を行いません。
- [ID] : ID のみ画面に表示させたい場合選択します。
- [GAIN] : 電子増感倍率のみ画面に表示させたい場合選択します。
- [ID&GAIN] : ID 及び電子増感倍率を画面に表示させたい場合選択します。

スイッチ説明

- UP : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」「ID」「GAIN」「ID&GAIN」「OFF」…と遷移します。
- DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」「ID&GAIN」「GAIN」「ID」「OFF」…と遷移します。
- MODE : 「OFF」表示時、設定を記憶し「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ
「ID」表示時、設定を記憶し「ID」メニューに遷移します。 23ページへ
「GAIN」表示時、設定を記憶し「GAIN」メニューに遷移します。 24ページへ
「ID&GAIN」表示時、設定を記憶し「ID&GAIN」メニューに遷移します。 24ページへ

「ID」メニュー

「ID DISP」メニューで「ID」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

H SYNC	0 M	
▶ ID DISP	ID	SET
MIC	OFF	

IDの表示内容、表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を、ボタン押下毎に「ID」「SET」「ID」…と遷移します。

MODE : 「ID」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ

「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。 25ページへ

[文字表示機能について]

- CIT-9510M では12桁のカメラID表示（画面上に任意の文字列を表示すること）及び、電子増感倍率表示の選択が可能で、表示位置は6カ所（上部左[]、上部中央[]、上部右[]、下部左[]、下部中央[]、下部右[]）から選択できます。



「GAIN」メニュー

「ID DISP」メニューで「GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

H SYNC	0 M	
▶ ID DISP	GAIN	SET
MIC	OFF	

電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を、ボタン押下毎に「GAIN」「SET」「GAIN」…と遷移します。

MODE : 「GAIN」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ
「SET」反転時、「GAIN PLACE」項目に遷移します。 27ページへ

「ID & GAIN」メニュー

「ID DISP」メニューで「ID & GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

H SYNC	0 M	
▶ ID DISP	ID & GAIN	SET
MIC	OFF	

IDの表示内容、表示位置、電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

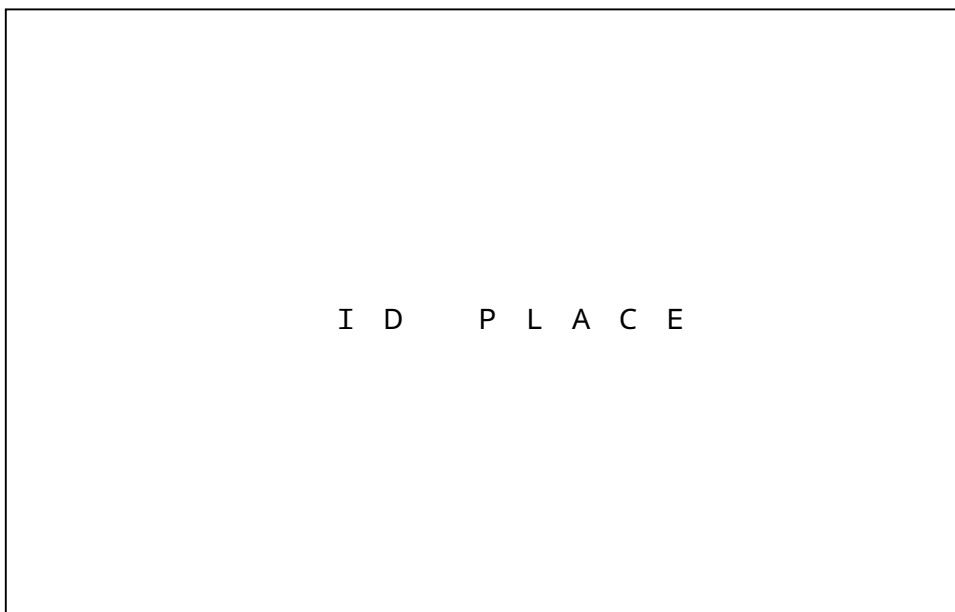
スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「ID & GAIN」「SET」「ID & GAIN」…と遷移します。

MODE : 「ID & GAIN」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ
「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。 25ページ

「 I D P L A C E 」項目

「 I D S E T 」項目で “ 終 ” を選択すると、下記の画面が表示されます。



I D の表示位置を設定します。

スイッチ説明

U P : I D 表示位置を…

…と遷移します。

D O W N : I D 表示位置を…

…と遷移します。

M O D E : 本メニューに「 I D 」メニューから遷移した場合、「 1 . S Y S T E M 」メニューに戻ります。

19ページへ

「 I D & G A I N 」メニューから本項目に遷移した場合、「 G A I N P L A C E 」項目に遷移します。

27ページへ

I D 表示は、文字の中央位置が , , , , の位置に設定されます。

「GAIN PLACE」項目

「GAIN」メニューで「SET」を選択する、または「ID&GAIN」メニューから「ID PLACE」項目にて設定すると、下記画面が表示されます。



電子増感倍率の表示位置を設定します。

注) 「ID PLACE」項目で設定したID表示位置と重複した位置や、ID表示位置が または の場合 の位置、 または の場合 の位置に電子増感倍率表示位置を設定することはできません。

スイッチ説明

UP : 増感倍率表示位置を… …と遷移します。

DOWN : 増感倍率表示位置を… …と遷移します。

MODE : 現在の位置を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ

「MIC」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「MIC」を選択します。

ON を選択すると内蔵マイクが有効となり、OFF で無効となります。

注) 使用していない場合は OFF を選択してください。カメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)に音声カード(別売)を使用しない場合は音声
が使用できません。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」 「ON」 「OFF」… と遷移します。

MODE : 設定を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ

「INITIAL」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「INITIAL」を選択します。

「START」選択で、各メニューの設定内容を工場出荷時設定(P.16)に初期化します。

また、「4.SCENE FIT」メニューで現在選択されているシーンの設定内容を初期化します。

USER1~USER3 が選択されている場合は工場出荷設定に、その他のシーンが選択されているときは、各シーンの初期値(P.17)に戻します。

注) 「4.SCENE FIT」メニューで、現在選択されているシーン以外の設定内容は初期化されません。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「EXIT」の表示を、ボタン押下毎に「EXIT」 「START」 「EXIT」… と遷移します。

MODE : 「START」表示時、メニュー各設定値をクリアして「1.SYSTEM」メニューに戻ります。

「EXIT」表示時、何も処理せずに「1.SYSTEM」メニューに戻ります。 19ページへ

「Y CONTROL」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「2.Y CONTROL」を選択したとき下記画面が表示されます。

```

                Y      C O N T R O L

I R I S      S E L          N O R M A L
G A I N      S E L          A G C
B W / C O L O R          C O L O R
G R A D A T I O N          N O R M A L
F L I C K E R          O F F
D E T A I L          L                      H

E X      T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

IRIS SEL : 30ページ
GAIN SEL : 41ページ
BW/COLOR : 56ページ
GRADATION : 62ページ
FLICKER : 66ページ
DETAIL : 67ページ

「IRIS SEL」メニュー

「2.SYSTEM」メニューで「IRIS SEL」を選択します。

アイリスの設定を行います。

[NORMAL] : 標準の撮像条件です。画面全体の平均光量により明るさが制御されます。

[SPOT] : 逆光条件、過順光の時使用します。次メニューで設定した測光枠内の信号レベルが最適になるようアイリス、AGC等が制御されます。

[SFV] : スーパーファインビュー機能が有効になり、明るすぎて見づらい部分の感度を抑え、暗すぎて見づらい部分の感度を上げることにより、画面全体としての感度がバランスのとれた映像で映し出されます。

[PEAK] : ピーク測光機能が有効になり、部分的に明るい所が見やすくなるように明るさが制御されます。

スイッチ説明

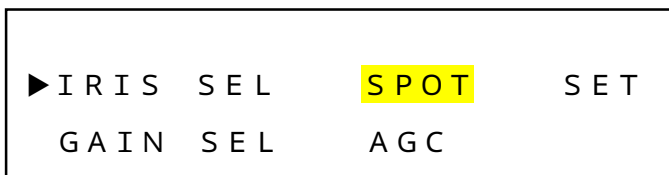
UP : 「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に、… 「SPOT」 「SFV」 「PEAK」 「NORMAL」 …と遷移します。

DOWN : 「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に、… 「PEAK」 「SFV」 「SPOT」 「NORMAL」 …と遷移します。

MODE : 「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。 30ページへ
「SFV」表示時、設定を記憶し「SFV」メニューに遷移します。 34ページへ
「PEAK」表示時、設定を記憶し「PEAK」メニューに遷移します。 38ページへ

「SPOT」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



逆光補正用測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「SPOT」 「SET」 「SPOT」…と遷移します。

MODE : 「SPOT」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。 31ページへ

「WINDOW」メニュー

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されま
す。

```
W I N D O W

W   D   T   H   H           *   *
W   D   T   H               *   *

L   O   C   A   T   E   H   *   *
L   O   C   A   T   E       *   *

E   X   I   T
```

各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。詳しくは、「逆光補正用測光枠について (P.33)」を
ご参照ください。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マーク
を移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されま
す。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻る
ことができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H : 32ページ

WIDTH V : 32ページ

LOCATE H : 32ページ

LOCATE V : 32ページ

「WIDTH H」項目

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Hの**が1 15まで変化します。

DOWN : WIDTH Hの**が15 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 31ページへ

「WIDTH V」項目

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Vの**を1 15まで変化します。

DOWN : WIDTH Vの**を15 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 31ページへ

「LOCATE H」項目

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Hの**を1 15まで変化します。

DOWN : LOCATE Hの**を15 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 31ページへ

「LOCATE V」項目

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Vの**を1 15まで変化します。

DOWN : LOCATE Vの**を15 1まで変化します。


MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 31ページへ

[逆光補正用測光枠について]

- 逆光補正用の測光枠は画面上の15（水平）×15（垂直）に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」では測光枠の右下角を移動して大きさを、「LOCATE」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を設定します。

測光枠設定例（画面上にはマスや位置番号は表示されません。）

位置番号	水 平														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1															
2															
3															
4															
5					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
6					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
7					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
8					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
9					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
10					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
11					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
12					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
13					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
14															
15															

設定エリア : （画面上では明るく表示されます。）

例 : サイズ設定（水平、垂直） = （9, 9）

位置設定（水平、垂直） = （5, 5）

設定項目「WIDTH」、「LOCATE」設定中は、設定値の増減と連動して設定エリアが明るく表示されます。

「SFV」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「SFV」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



スーパーファインビュー機能の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「SFV」「SET」「SFV」…と遷移します。

MODE : 「SFV」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「SET」反転時、「SFV SET」メニューに遷移します。 35ページへ

[SFVについて]

- SFVとは、感度の高い低速シャッターによる撮影と感度の低い高速シャッターによる撮影を同時に行い、映像の暗い部分を感度の高い低速シャッターで得られた映像、映像の明るい部分を感度の低い高速シャッターで得られた映像に画面合成することで、明るい部分と暗い部分の撮影を同時に可能としている機能です。
- SFV時の低速側シャッター速度は、1/60 s もしくは 1/100 s のいずれかになります。高速側シャッター速度は、「SSHT SEL」メニューにて設定可能です。

SFV動作時は下記の注意が必要です。

- (1) SFVは、暗いところでは効果が働きません。約 100lx 以下で自動的に OFF になります。
- (2) SFVは画面合成を行っているため、合成境界部にノイズが発生することがあります。境界部のノイズは、低速側シャッター速度と高速側シャッター速度の差が大きくなればなるほど目立つようになります。また、明るい部分と暗い部分がはっきりと分かれていない被写体の場合に目立つ傾向があります。このような被写体の場合は、高速側シャッター速度をあまり速く設定しないようにしてください。
- (3) SFVの高速側シャッター速度は 1/1200 s 以上と高速であるため、放電灯照明下または高周波点灯照明下での撮影では以下のようなフリッカが発生する恐れがありますので、注意ください。

[50Hz 電源地区]

高輝度部の映像が激しいフリッカを発生する
高輝度部の色が激しく赤っぽくなったり青っぽくなったりする

[60Hz 電源地区]

高輝度部の映像がゆっくりとした変化で大きくなったり小さくなったりする
全体の色がゆっくりとした変化で赤っぽくなったり青っぽくなったりする

「SFV SET」メニュー

「SFV」メニューで「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。

```

                S F V   S E T

S S H T   S E L           A U T O

S S H T   L E V E L       L           H
M A X   S S H T           1 / 8 0 0 0

E X I T
```

各項目にて、高速側シャッタ速度の設定を行います。詳しくは「SFVについて」をご参照ください。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。29ページへUP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SSHT SEL : 36ページ
SSHT LEVEL : 36ページ
MAX SSHT : 37ページ

「SSHT SEL」メニュー

「SFV SET」メニューで「SSHT SEL」を選択します。

高速側シャッタ速度を設定します。「AUTO」設定時は高速側シャッタ速度を被写体に応じて自動で設定するモードに、「AUTO」設定以外では高速側シャッタ速度を設定された値に固定とします。

高速側シャッタ速度を高速に設定するほど、明暗の差が大きい被写体に対応できます。

スイッチ説明

UP : ボタン押下毎に「AUTO」「1/1200」「1/1500」「1/2000」「1/2500」「1/3000」「1/4000」「1/5000」「1/6000」「1/8000」「1/12000」「1/16000」と遷移します。

DOWN : ボタン押下毎に「1/16000」「1/12000」「1/8000」「1/6000」「1/5000」「1/4000」「1/3000」「1/2500」「1/2000」「1/1500」「1/1200」「AUTO」と遷移します。

MODE : 設定値を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。 35ページへ

注) 高速側シャッタ速度を高速に設定すると、低速側シャッタ映像と高速側シャッタ映像の合成部にノイズが発生する場合があります

「SSHT LEVEL」メニュー

「SFV SET」メニューで「SSHT LEVEL」を選択します。

「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時の、高速側シャッタによる映像の明るさを設定します。

H方向で高速側シャッタによる映像が明るくなるように、L方向で暗くなるように制御します。

本設定は、「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時のみ有効です。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。 35ページ

「MAX SSHT」メニュー

「SFV SET」メニューで「MAX SSHT」を選択します。

「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時の、高速側シャッタ速度の最大速度を設定します。
高速側シャッタ速度が、本メニューで設定された値より高速にならないように制御されます。
本設定は、「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時のみ有効です。

スイッチ説明

UP : ボタン押下毎に「1/1500」「1/2000」「1/2500」「1/3000」「1/4000」「1/5000」
「1/6000」「1/8000」「1/12000」「1/16000」と遷移します。

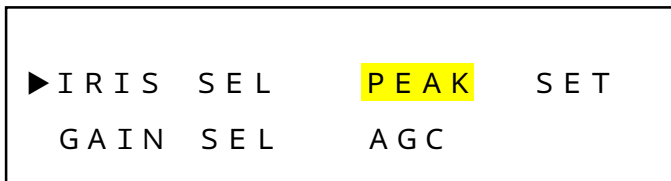
DOWN : ボタン押下毎に「1/16000」「1/12000」「1/8000」「1/6000」「1/5000」「1/4000」
「1/3000」「1/2500」「1/2000」「1/1500」と遷移します。

MODE : 設定値を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。 35ページへ

注) 高速側シャッタ速度の最大速度を高速に設定すると、逆光が強くなった場合に低速側シャッタ映像
と高速側シャッタ映像の合成部にノイズが発生する場合があります

「PEAK」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「PEAK」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



ピーク測光の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「PEAK」「SET」「PEAK」…と遷移します。

MODE : 「PEAK」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「SET」反転時、「PEAK SET」メニューに遷移します。 39ページへ

「PEAK SET」メニュー

「PEAK」メニューで「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。

```
                P E A K   S E T

B R I G H T   R E V           L           H
D A R K     R E V           L           H

E X I T
```

各項目にてピーク測光の設定をします。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。29ページへUP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

BRIGHT REV : 40ページ

DARK REV : 40ページ

「BRIGHT REV」メニュー

「PEAK SET」メニューで「BRIGHT REV」を選択します。

ピーク測光の効果を設定します。

H方向で部分的に明るい所がより暗く（ピーク測光の効果が強く）なるように制御します。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。 39ページ

注) 本設定をH方向に大きく設定した場合、アイリス動作がハンチングを起こす場合があります。

「DARK REV」メニュー

「PEAK SET」メニューで「DARK REV」を選択します。

ピーク測光時の暗い所の映像補正量を設定します。

ピーク測光時は部分的に明るい所を見えるように制御するため、暗い部分は逆に見づらくなります。このため、部分的に明るい被写体を撮影していると判断したときに、暗い部分の映像を持ち上げる補正処理を入れています。H方向で暗い所の映像がより明るくなるように補正をかけます。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。 39ページ

注) 本設定をH方向に大きく設定した場合、暗い部分の映像にノイズが目立つ場合があります。

「GAIN SEL」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「GAIN SEL」を選択します。

ゲインの値を自動で変化させるか手動で調整するかを選択することができます。

[AGC]: 明るさに応じてゲインの値が自動的に変化します。

[MGC]: ゲインの値を手動で調整します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「AGC」の表示を、ボタン押下毎に「AGC」 「MGC」 「AGC」…と遷移します。

MODE : 「MGC」表示時、設定を記憶し「MGC」メニューに遷移します。 41ページ

「AGC」表示時、設定を記憶し「AGC」メニューに遷移します。 47ページ

「MGC」メニュー

「GAIN SEL」メニューで「MGC」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

IRIS SEL	NORMAL	
▶ GAIN SEL	MGC	SET
BW / COLOR	COLOR	

MGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「MGC」 「SET」 「MGC」…と遷移します。

MODE : 「MGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ

「SET」反転時、「MGC SET」メニューに遷移します。 42ページ

「MGC SET」メニュー

「MGC」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

M G C   S E T

S H U T T E R           1 / 6 0
M G C   L E V E L       L                               H
I R I S   L E V E L     L                               H
D N R                               A U T O 1

E X   T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。 29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

```

SHUTTER   : 43ページ
MGC LEVEL : 45ページ
IRIS LEVEL: 45ページ
DNR       : 46ページ
```

「SHUTTER」項目

「MGC SET」メニューで「SHUTTER」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                M G C   S E T

S H U T T E R           1 / 6 0
M G C   L E V E L           L           H
I R I S   L E V E L           L           H
D N R                A U T O 1

E X   T
```

電子増感倍率またはシャッタ速度を設定します。×2～×40までは電子増感倍率、1/60～1/10000まではシャッタ速度の設定となります。

スイッチ説明

UP : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「×40」 「×20」 「×16」 「×14」 「×12」 「×10」 「×8」 「×6」 「×4」
「×2」 「1/60」 「1/100」 「1/250」 「1/500」 「1/1000」 「1/2000」 「1/4000」
「1/10000」

DOWN : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「1/10000」 「1/4000」 「1/2000」 「1/1000」 「1/500」 「1/250」 「1/100」
「1/60」 「×2」 「×4」 「×6」 「×8」 「×10」 「×12」 「×14」 「×16」
「×20」 「×40」

MODE : 設定値を記憶して「MGC SET」メニューに戻ります。 42ページ

注) 「IRIS SEL」メニューで「SFV」が選択されている場合、電子増感の設定にすることはできません。

[高速シャッターについて]

■ 高速シャッターを使用する場合は下記の注意が必要です。

- (1) シャッター速度が速くなるほど十分な光量を必要とします。(相対的な感度が低下します。)
- (2) 50Hz 電源地区における放電灯照明下でフリッカが気になる場合は、1/100 s シャッターを選択することでもフリッカを抑圧できます。
注) MGC 設定時はフリッカキャンセル機能を ON にすることができませんので、1/100 s シャッターを利用してください。
- (3) 50Hz 電源地区における放電灯照明下または高周波点灯照明下では 1/250 s 以上の高速シャッターは激しいフリッカを発生しますのでご注意ください。
- (4) 高輝度被写体に対して露出調節のために超高速シャッターで長期間使用することはお避けください。CCD のカラーフィルタの退色により色再現性が劣化する場合があります。
- (5) 60Hz 電源地区における放電灯照明下で高速シャッターを使用しますとゆっくりとした光量変化を生じます。このため画面に周期的な S/N の変動および色の変化が発生しますのでご注意ください。

[手動電子増感機能について]

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 s 以上の低速シャッター制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-9510M では、標準時(シャッタースピード 1/60 s)に対して×1 倍から×40 倍まで手動で感度アップを行うことができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

- (1) 動きのある被写体は、感度がアップするほどぶれを生じます。
- (2) 増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
- (3) 増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×16 倍以上のときには、CCD の固定パターンノイズ(画面の一定位置に点として見えるノイズ)が目立つ場合があります。
- (4) 手動電子増感設定などで画面を明るくしすぎた場合、コントローラの電源を ON/OFF すると同期がかかりにくくなる場合があります。

「MGC LEVEL」項目

「MGC SET」メニューで「MGC LEVEL」を選択します。

ゲインの設定を行うことができます。H側でゲインが大きく、L側でゲインが小さくなります。

注) ゲインを大きく設定すると、被写体によっては画像がハンチングを起こす場合があります。
ゲインを小さく設定すると、暗い時に映像が見つらい場合があります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。 42ページへ

「IRIS LEVEL」項目

「MGC SET」メニューで「IRIS LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。

H方向で画面が明るくなり、L方向画面が暗くなります。

注) IRIS LEVEL 設定がLかHに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかったり、画面がハンチングを起こす場合があります。また、急激に光量が変わったときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。 42ページへ

「DNR」項目

「MGC SET」メニューで「DNR」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

M G C   S E T

S H U T T E R           1 / 6 0
M G C   L E V E L           L           H
I R I S   L E V E L           L           H
D N R
A U T O 1

E X   T
```

通常は AUTO 1 で使用してください。使用詳細は下記の[デジタルノイズリダクションについて]を参照し、最適の状態を設定してください。

スイッチ説明

UP : 「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO 1」「AUTO 2」「LOW」「MIDDLE」「HIGH」「OFF」「AUTO 1」…と遷移します。

DOWN : 「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO 1」「OFF」「HIGH」「MIDDLE」「LOW」「AUTO 2」「AUTO 1」…と遷移します。

MODE : 設定を記憶して「MGC SET」メニューに戻ります。 42ページへ

[デジタルノイズリダクションについて]

- カメラ映像ノイズには固定パターンノイズとランダムノイズがあります。デジタルノイズリダクション（以下DNR）はゲインアップをおこなった際に生じるランダムノイズの低減を行います。レベルはLOW MIDDLE HIGHの順でランダムノイズの低減レベルが上がって行きます。
- DNR動作時は次の注意が必要です。
低減レベルを上げるほど（HIGHにするほど）、垂直解像度が若干悪くなります。
また、動きのある被写体は低減レベルを上げるほど（HIGHにするほど）、映像はぶれを生じます。
- 「AUTO 1」は動きのある被写体に対して映像ぶれが生じにくくなっていますが、DNRの効果がつよい場合があります。「AUTO 2」は動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなっていますが、DNRの効果は大きくなります。

「AGC」メニュー

「GAIN SEL」メニューで「AGC」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転し、右側に「SET」が表示されます。

IRIS SEL	NORMAL	
▶GAIN SEL	AGC	SET
BW/COLOR	COLOR	

AGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN：反転表示を「AGC」「SET」「AGC」…と遷移します。

MODE：「AGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「SET」反転時、「AGC SET」メニューに遷移します。 48ページへ

「AGC SET」メニュー

「AGC」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                A G C   S E T

S H U T T E R                A U T O
A G C   L E V E L                L                H
M A X   A G C                L                H
A G C   B O O S T                O F F
D N R                A U T O 1

E X   T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。 29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

```

SHUTTER   : 49ページ
AGC LEVEL : 53ページ
MAX AGC   : 54ページ
AGC BOOST : 54ページ
DNR       : 55ページ
```


「SHUTTER」項目

「AGC SET」メニューで「SHUTTER」を選択します。

```

                A G C   S E T
S H U T T E R           A U T O
A G C   L E V E L           L           H
M A X   A G C           L           H
A G C   B O O S T           O F F
D N R           A U T O 1
E X   T
```

AGC時、電子増感またはシャッタ速度を選択します。自動電子増感を設定する場合、「AUTO」を選択してください。

スイッチ説明

UP : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に「×40」「×20」「×16」「×14」「×12」「×10」「×8」「×6」「×4」「×2」「AUTO」「1/60」「1/100」「1/250」「1/500」「1/1000」「1/2000」「1/4000」「1/10000」と遷移します。

DOWN : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に「1/10000」「1/4000」「1/2000」「1/1000」「1/500」「1/250」「1/100」「1/60」「AUTO」「×2」「×4」「×6」「×8」「×10」「×12」「×14」「×16」「×20」「×40」と遷移します。

MODE : 「AUTO」設定時、設定を記憶して「AUTO」メニューに遷移します。 50ページへ
「AUTO」以外設定時、設定を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。 48ページへ

注1) 「IRIS SEL」メニューで「SFV」が選択されている場合、電子増感の設定にすることはできません。

注2) 「IRIS SEL」メニューで「SFV」を選択し、「FLICKER」メニューで「ON」が選択されている場合、「AUTO」「1/100」の選択となります。

[自動電子増感機能について]

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 秒以上の低速シャッター制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-9510M では、下記の特徴があります。

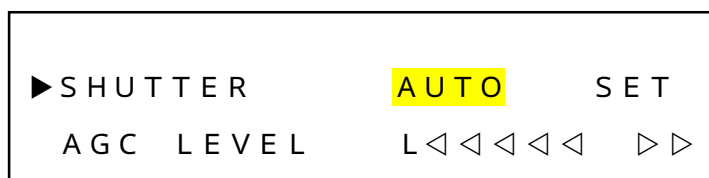
- (1) 自動電子増感機能
標準時(シャッタースピード 1/60 秒)に対して×1 倍から×40 倍まで自動で感度アップを行うことができます。
- (2) 自動電子増感最大倍率の設定機能
自動電子増感の最大倍率を 1 倍から 40 倍まで任意に設定できますので、設置状況に応じて感度アップの範囲を設定することができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

- (1) 動きのある被写体は、感度がアップするほどぶれを生じます。
- (2) 自動電子増感時は、MGC 設定になっていても自動的に AGC モードとなります。手動増感時は AGC/MGC の設定は無効です。
- (3) 自動電子増感設定時に、暗い場所を撮影して電子増感倍率が高くなっている状態から急に明るい場所を撮影すると、しばらくの間映像が真っ白になる場合があります。
- (4) カメラ電源立ち上げ後、自動電子増感時は増感倍率×1 からスタートします。
- (5) 増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
- (6) 増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×16 倍以上のときには、CCD の固定パターンノイズ(画面の一定位置に点として見えるノイズ)が目立つ場合があります。

「AUTO」メニュー

「SHUTTER」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



自動電子増感の詳細設定を行う場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「AUTO」 「SET」 「AUTO」 …と遷移します。

MODE : 「AUTO」反転時、「AGC SET」メニューに戻ります。 48ページへ

「SET」反転時、「AUTO SET」メニューに遷移します。 51ページへ

「AUTO SET」メニュー

「AUTO」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                A U T O   S E T

M A X   G A   N           x 4 0
x 1   S H U T T E R       1 / 6 0
x 1   S L O W               L                               H

E X   T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「AGC SET」メニューに戻ります。 48 ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

```

MAX GAIN   : 52ページ
x1 SHUTTER : 52ページ
x1 SLOW    : 53ページ
```

「MAX GAIN」項目

「AUTO SET」メニューで「MAX GAIN」を選択します。

最大電子増感倍率の設定を行います。×2のときは電子増感が最大2倍まで、×16のときは電子増感が最大16倍まで動作します。

スイッチ説明

UP : 「×16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「×1」 「×2」 「×4」 「×6」 「×8」 「×10」 「×12」 「×14」 「×16」
「×20」 「×40」

DOWN : 「×16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「×40」 「×20」 「×16」 「×14」 「×12」 「×10」 「×8」 「×6」 「×4」
「×2」 「×1」

MODE : 設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。 51ページへ

「×1 SHUTTER」項目

「AUTO SET」メニューで「×1 SHUTTER」を選択します。

自動電子増感選択時の、電子増感倍率1倍のときのシャッタ速度の選択を行います。50Hz 地区において放電灯下でFLICKER設定をONにしてもフリッカが目立つ場合、FLICKER設定をOFFにして×1 SHUTTER設定を1/100にしてください。

注) FLICKER設定がONの場合、×1 SHUTTER設定は「1/60」固定となります。

(IRIS SELでSFVが選択されているときは「1/100」固定となります。)

スイッチ説明

UP / DOWN : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に… 「1/100」 「1/60」 …と遷移します。

MODE : 設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。 51ページへ

「×1 SLOW」項目

「AUTO SET」メニューで「×1 SLOW」を選択します。

電子増感に入る条件を設定することができます。H方向で電子増感に入りにくくなり、L方向で電子増感に入りやすくなります。電子増感は動く被写体に対してぶれを生じますが、S/N、感度は改善されます。自動電子増感を動き重視で行いたい場合はH側、S/N重視で行いたい場合はL側に設定してください。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。 51ページ

「AGC LEVEL」項目

「AGC SET」メニューで「AGC LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。

H方向で画面が明るくなり、L方向画面が暗くなります。

注) AGC LEVEL がLかHに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかったり、画面がハンチングを起こす場合があります。また、急激に光量が変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。 48ページへ

「MAX AGC」項目

「AGC SET」メニューで「MAX AGC」を選択します。

最大ゲインレベルの設定を行います。H側で最大ゲインレベルが上がり、L側で最大ゲインレベルが下がります。最大ゲインレベルが高い場合は画面が明るくなりますが、ノイズが増えます。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定値を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。 48ページへ

「AGC BOOST」項目

「AGC SET」メニューで「AGC BOOST」を選択します。

低照度時、最大ゲインをさらに2倍のばすことができます。高感度の必要な場合は+6DBで使用してください。

注) AGC BOOST を + 6 D B に設定すると、低照度時にノイズが目立つ場合があります。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」 「+6DB」 「OFF」 …と遷移します。

MODE : 設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。 48ページへ

「DNR」項目

「AGC SET」メニューで「DNR」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

	A G C	S E T	
S H U T T E R		A U T O	
A G C	L E E L	L	H
M A X	A G C	L	- H
A G C	B O O S T	O F F	
D N R		A U T O 1	
E X T			

デジタルノイズリダクションの設定を行います。

使用詳細はP.46の[デジタルノイズリダクションについて] の項を参照し、最適の状態を設定してください。「AUTO 1」は動きのある被写体に対して映像ぶれが生じにくくなりますが、DNRの効果はうすくなる場合があります。「AUTO 2」は動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなりますが、DNRの効果は大きくなります。

スイッチ説明

UP : 「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「AUTO 1」 「AUTO 2」 「LOW」 「MIDDLE」 「HIGH」 「OFF」 「AUTO 1」 …

DOWN : 「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「AUTO 1」 「OFF」 「HIGH」 「MIDDLE」 「LOW」 「AUTO 2」 「AUTO 1」 …

MODE : 設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。 48ページへ

「BW / COLOR」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「BW/COLOR」を選択します。

カラー / 白黒切替の設定を行います。

[AUTO] : 被写体の明るさにより、明るい時はカラー映像、暗い時は白黒映像へ自動的に切り換えます。

急激な明るさ変化によるハンチング防止のため、被写体の明るさが変化した後、その明るさが1分以上継続した場合に自動的にカラー / 白黒切替が行われます。

[COLOR] : 常時カラー映像を映します。

[BW] : 常時白黒映像を映します。

スイッチ説明

UP : 「COLOR」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「COLOR」 「BW」 「AUTO」 「COLOR」 …

DOWN : 「COLOR」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「COLOR」 「AUTO」 「BW」 「COLOR」 …

MODE : 「COLOR」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページ

「BW」表示時、設定を記憶し「BW」メニューに遷移します。 56ページ

「AUTO」表示時、設定を記憶し「AUTO BW」メニューに遷移します。 58ページ

注) MGC設定時は、「AUTO」を選択することはできません。

「BW」メニュー

「BW COLOR」メニューで「BW」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

GAIN SEL	AGC
▶BW / COLOR	BW SET
GRADATION	NORMAL

白黒モードの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「BW」 「SET」 「BW」 …と遷移します。

MODE : 「BW」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ

「SET」反転時、「BW SET」メニューに遷移します。 57ページへ

「BW SET」メニュー

「BW」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

B W S E T

B U R S T O N

E X T

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークの表示を、点灯 消灯 点灯 …と変化します。

「▶」マーク消灯時は、「EXIT」を反転表示します。

「EXIT」反転表示の場合、MODEボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。

29ページへ

「BURST」反転表示の場合、MODEボタンを押すと、「BURST」項目へ遷移します。 57ページへ

「BURST」項目

「BW SET」メニューで「BURST」を選択します。

白黒撮像時のカラーバースト ON/OFF 設定を行います。

[ON] : 白黒時、カラーバースト有。

[OFF] : 白黒時、カラーバースト無。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「ON」の表示が、ボタン押下毎に「ON」 「OFF」 「ON」 …と遷移します。

MODE : 設定を記憶し「BW SET」メニューに戻ります。 57ページへ

「AUTO BW」メニュー

「BW/COLOR」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

GAIN SEL	AGC	
▶BW/COLOR	AUTO	SET
GRADATION	NORMAL	

自動カラー白黒切換の詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を「AUTO」「SET」「AUTO」…と遷移します。

MODE : 「AUTO」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「SET」反転時、「AUTO BW SET」メニューに遷移します。 59ページへ

「AUTO BW SET」メニュー

「AUTO BW」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                A U T O   B W   S E T

BURST                O N
COLOR   B W         L                               H
B W   C O L O R     L                               H
T I M E R                * * S E C

E X   T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29 ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

BURST : 60 ページ

COLOR BW : 60 ページ

BW COLOR : 61 ページ

TIMER : 61 ページ

「BURST」項目

「AUTO BW SET」メニューで「BURST」を選択します。

白黒撮影時の、カラーバースト ON/OFF 設定を行います。

[ON] : カラーバースト有。

[OFF] : カラーバースト無。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「ON」の表示を、ボタン押下毎に「ON」「OFF」「ON」・・・と遷移します。

MODE : 設定を記憶し「AUTO BW SET」メニューに戻ります。 59ページへ

「COLOR BW」項目

「AUTO BW SET」メニューで「COLOR BW」を選択します。

カラー 白黒に切り換える条件（明るさ）を設定することができます。

H方向に移動させると、白黒画面に切り換わりにくくなります。

L方向に移動させると、白黒画面に切り換わりやすくなります。

注) カラー 白黒に切り換えると、感度が上がりますが、照明条件によって感度の上がり方が違うため白黒画面に切り換わりやすい条件に設定すると、カラーと白黒の状態がハンチングする場合があります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO BW SET」メニューへ遷移します。 59ページへ

「BW COLOR」項目

「AUTO BW SET」メニューで「BW COLOR」を選択します。

白黒 カラーに切り換える条件（明るさ）を設定することができます。

H方向に移動させると、カラーに切り換わりやすくなります。

L方向に移動させると、カラーに切り換わりにくくなります。

注) 白黒 カラーに切り換えると、感度が下がりますが、照明条件によって感度の下がり方が違うため
カラー画面に切り換わりやすい条件に設定すると、カラーと白黒の状態がハンチングする場合があります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO BW SET」メニューへ遷移します。 59ページへ

「TIMER」項目

「AUTO BW SET」メニューで「TIMER」を選択します。

カラー 白黒に切り換える条件，白黒 カラーに切り換える条件を、何秒以上連続して継続したときに
切り換え動作を開始するかの設定を行うことができます。

スイッチ説明

UP : **を5 90まで5ずつUPします。

DOWN : ****を90 5まで5ずつDOWNします。

MODE : 設定値を記憶し、「AUTO BW SET」メニューに戻ります。 59ページへ

注) 本設定を短い時間に設定すると、カラーと白黒の状態がハンチングする場合があります。

「GRADATION」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「GRADATION」を選択します。

ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を行います。

[NORMAL] : ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定固定

[USER] : ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を可能とする

スイッチ説明

UP / DOWN : 「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に・・・ 「USER」 「NORMAL」 ……と遷移します。

MODE : 「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「USER」表示時、設定を記憶し「USER」メニューに遷移します。 62ページへ

「USER」メニュー

「GRADATION」メニューで「USER」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

BW / COLOR	COLOR	
▶ GRADATION	USER	SET
FLICKER	OFF	

ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「USER」 「SET」 「USER」 ……と遷移します。

MODE : 「USER」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ
「SET」反転時、「USER SET」メニューに遷移します。 63ページへ

「USER SET」メニュー

「USER」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
U S E R   S E T

G A M M A           L           H
K N E E             L           H
W   C L I P         L           H
S E T   U P         L           H

E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

GAMMA : 64ページ

KNEE : 64ページ

W-CLIP : 65ページ

SET UP : 65ページ

「GAMMA」項目

「USER SET」メニューで「GAMMA」を選択します。

ガンマの設定を行います。

H方向に移動させると、画面全体が明るくなる方向に変化します（ガンマ補正が大きくなります）。

L方向に移動させると、画面全体が暗くなる方向に変化します（ガンマ補正が小さくなります）。

液晶モニタなど、暗部がつぶれやすい表示機をご使用の場合は、ガンマ補正を大きくすることで暗部が見やすくなります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。 63ページへ

「KNEE」項目

「USER SET」メニューで「KNEE」を選択します。

ニーの設定を行います。

H方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が強くなります（ニー補正が大きくなります）。

L方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が弱くなります（ニー補正が小さくなります）。

ホワイトクリップが小さく設定されている場合、ニー補正を強くかけることで映像の白つぶれをおさえることができます。ホワイトクリップが大きく設定されている場合、ニー補正を弱くすることで高輝度部の階調をはっきり出すことができます。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。 63ページへ

「W - C L I P」項目

「USER SET」メニューで「W-CLIP」を選択します。

ホワイトクリップの設定を行います。

H方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が大きく設定されます。

L方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が小さく設定されます。

ホワイトクリップの位置を大きく設定することで、映像の白つぶれをおさえることができます。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。 63ページへ

注)ホワイトクリップの位置を大きく設定すると、表示装置によっては白つぶれが逆にひどくなったり、場合によっては映像が乱れたり映像が映らなくなる恐れがあります。

「S E T U P」項目

「USER SET」メニューで「SET UP」を選択します。

セットアップレベル(黒レベル)の設定を行います。

H方向に移動させると、黒が明るく表示されます。

L方向に移動させると、黒が暗く表示されます。

セットアップレベルを大きくすることで暗い部分の映像を明るく、小さくすることでくっきりとした黒を表示することができます。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。 63ページへ

「FLICKER」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「FLICKER」を選択します。

ON 選択で、画面全体のチラツキ（フリッカ）をなくします。詳しくは「フリッカについて」をご参照ください。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」「ON」「OFF」・・・と遷移します。
(MGC 時は「OFF」固定となります)

MODE : 設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。 29ページへ

[フリッカについて]

フリッカ（ちらつき）は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や白熱照明下では発生しません。

フリッカの現象は電源周波数とシャッタ速度により下記のように異なります。

◆ 60Hz 電源地区での場合

1. 1/60 s シャッタ

電源周波数と CCD の電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。

2. 高速シャッタの場合

ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッタ速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。

◆ 50Hz 電源地区での場合

1. 1/60 s シャッタ

約 20Hz 周期のフリッカが発生します。FLICKER 設定を ON にすることで補正することができます。

2. 1/100 s シャッタ

フリッカは発生しません。1/60 s シャッタに比較して約半分に感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。

3. 1/250 s 以上の高速シャッタ

かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッタが必要な場合には自然光または白熱点灯照明をご使用ください。

「DETAIL」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「DETAIL」を選択します。

画質を調整することができます。

L方向で画質がソフトになり、H方向で画質がシャープになります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定値を記憶して「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。 29ページへ

「COLOR」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「3.COLOR」を選択したとき、下記の画面が表示されます。

```
                C O L O R

WB SEL          A U T O
AWB LOCK       O F F
C LEVEL        L                               H
SUPPRESS      L                               H

E X T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。（「WB SEL」メニューで「MANU」を選択している場合、「AWB LOCK」はパスされます。）

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

```
WB SEL    : 69ページ
AWB LOCK  : 81ページ
C LEVEL   : 82ページ
SUPPRESS  : 82ページ
```

「WB SEL」メニュー

「3.COLOR」メニューで「WB SEL」を選択します。

[AUTO]:自動的にホワイトバランスを合わせます。

[MANU]:手動でホワイトバランスを調整します。

スイッチ説明

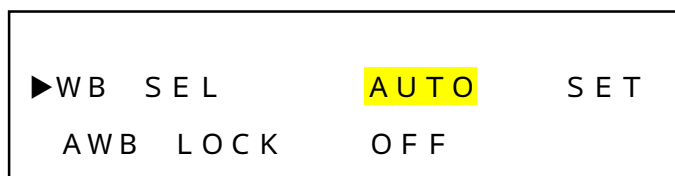
UP / DOWN : 「AUTO」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO」「MANU」「AUTO」・・・と遷移します。

MODE : 「AUTO」表示時、設定を記憶し「AUTO」メニューに遷移します。 69ページへ

「MANU」表示時、設定を記憶し「MANU」メニューに遷移します。 77ページへ

「AUTO」メニュー

「WB SEL」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



オートホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「AUTO」「SET」「AUTO」・・・と遷移します。

MODE : 「AUTO」反転時、「3.COLOR」メニューに戻ります。 68ページへ

「SET」反転時、「AUTO WB SET」メニューに遷移します。 70ページへ

「AUTO WB SET」メニュー

「AUTO」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                A U T O   W B   S E T

L I G H T                E L E C T R I C
A W B   A R E A          N O R M A L
A W B   R - Y           C Y                       R
A W B   B - Y           Y                           B
H U E   R - Y           Y B                       M G
H U E   B - Y           Y B                       G M

E X   T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「3.COLOR」メニューに戻ります。 68ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

LIGHT : 71ページ
AWB AREA : 72ページ
AWB R-Y : 75ページ
AWB B-Y : 75ページ
HUE R-Y : 76ページ
HUE B-Y : 76ページ

「LIGHT」項目

「AUTO WB SET」メニューで「LIGHT」を選択します。

[NATURAL] :自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯 対応。

[ELECTRIC]:上記に加え、水銀灯などまで引き込み範囲を拡大します。

[ALL] :引込み範囲の制限がないモードです。

スイッチ説明

UP : 「ELECTRIC」の表示が、ボタン押下毎に… 「ALL」 「NATURAL」 「ELECTRIC」 …
と遷移します。

DOWN : 「ELECTRIC」の表示が、ボタン押下毎に… 「NATURAL」 「ALL」 「ELECTRIC」 …
…と遷移します。

MODE : 設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。 70ページへ

[対応照明の選択「LIGHT」について]

- [NATURAL] は自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯の照明下において最適なホワイトバランスが得られるようにオートホワイトバランスが動作します。引き込み範囲を制限していますので単一色の被写体でも退色現象が少なくなります。
- [ELECTRIC] では、NATURAL の引き込み範囲を水銀灯などまで拡大するとともに、光源の固有スペクトラムにより画面が黄色あるいは緑っぽくなる現象を補正するようにオートホワイトバランスが動作します。
- [ALL] は引き込み範囲の制限をなくし、ホワイトバランスが限界まで追従するモードです。

「AWB AREA」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB AREA」を選択します。

AWBの測光枠を設定します。

[NORMAL] :画面全エリアの色情報をもとにAWBが動作します。

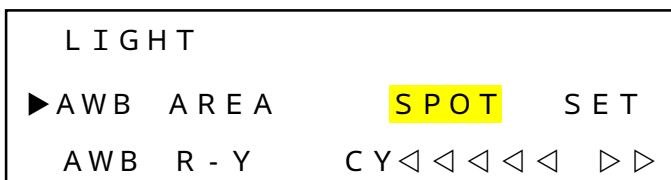
[SPOT] :次メニューで設定した測光枠内の色情報をもとにAWBが動作します。
あらかじめ白色と分かっている部分にAWB測光枠を合わせることで、
より高精度なAWB動作を行うことができます。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に・・・ 「SPOT」 「NORMAL」 ……と遷移します。
MODE : 「NORMAL」表示時、設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。 70ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。 72ページへ

「SPOT」項目

「AUTO WB SET」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



AWB測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「SPOT」 「SET」 「SPOT」 ……と遷移します。
MODE : 「SPOT」反転時、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。 70ページへ
「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。 73ページへ

注) AWB測光枠の大きさを小さすぎる設定した場合、AWB動作が不安定になって色が定まらなくなる場合があります。

「WINDOW」メニュー

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。

```
                W I N D O W

                W   D   T   H   H           *   *
                W   D   T   H               *   *

                L   O   C   A   T   E   H   *   *
                L   O   C   A   T   E       *   *

                E   X   I   T
```

各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。70ページへUP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H : 74ページ

WIDTH V : 74ページ

LOCATE H : 74ページ

LOCATE V : 74ページ

「WIDTH H」項目

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Hの**が1 15まで変化します。

DOWN : WIDTH Hの**が15 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 73ページへ

「WIDTH V」項目

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Vの**を1 15まで変化します。

DOWN : WIDTH Vの**を15 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 73ページへ

「LOCATE H」項目

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Hの**を1 15まで変化します。

DOWN : LOCATE Hの**を15 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 73ページへ

「LOCATE V」項目

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Vの**を1 15まで変化します。

DOWN : LOCATE Vの**を15 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。 73ページへ

「AWB R - Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB R-Y」を選択します。

R方向で画面が赤に、C Y方向で画面がシアンに色調が変わります。

スイッチ説明

UP : R方向に が移動します。

DOWN : C Y方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。 70ページへ

「AWB B - Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB B-Y」を選択します。

B方向で画面が青く、Y方向で画面が黄色に色調が変わります。

スイッチ説明

UP : B方向に が移動します。

DOWN : Y方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。 70ページへ

「HUE R - Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

M G 方向で赤色がマゼンダに、青色が緑色に、色合いが変わります。

Y B 方向で赤色が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

UP : M G 方向に が移動します。

DOWN : Y B 方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。 70ページへ

「HUE B - Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

G M 方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。

Y B 方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

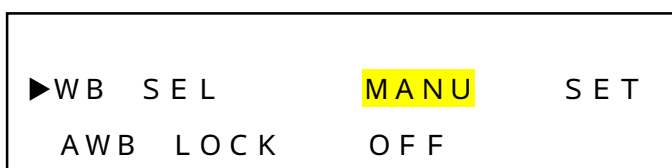
UP : G M 方向に が移動します。

DOWN : Y B 方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。 70ページへ

「MANU」メニュー

「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



マニュアルホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示が「MANU」「SET」「MANU」…と遷移します。

MODE : 「MANU」反転時、「3.COLOR」メニューに戻ります。 68ページへ
「SET」反転時、「MANU WB SET」メニューに遷移します。 78ページへ

「MANU WB SET」メニュー

「MANU」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

M A N U   W B   S E T

M W B   R - Y           B           R
M W B   B - Y           M           G
H U E   R - Y           Y B         M G
H U E   B - Y           Y B         G M

E X   T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「3.COLOR」メニューに戻ります。 68ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MWB R-Y : 79ページ

MWB B-Y : 79ページ

HUE R-Y : 80ページ

HUE B-Y : 80ページ

「MWB R - Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「MWB R-Y」を選択します。

R方向で画面が赤く、B方向で画面が青く色調が変わります。

スイッチ説明

UP : R方向に が移動します。

DOWN : B方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。 78ページへ

「MWB B - Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「MWB B-Y」を選択します。

G方向で画面がグリーンに、M方向で画面がマゼンダに色調が変わります。

スイッチ説明

UP : G方向に が移動します。

DOWN : M方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。 78ページへ

「HUE R - Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

M G 方向で赤色がマゼンダに、青色が緑色に、色合いが変わります。

Y B 方向で赤色が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

UP : M G 方向に が移動します。

DOWN : Y B 方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。 78ページへ

「HUE B - Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

G M 方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。

Y B 方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

UP : G M 方向に が移動します。

DOWN : Y B 方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。 78ページへ

「AWB LOCK」メニュー

「3.COLOR」メニューで「AWB LOCK」を選択します。

ON選択で、現在のホワイトバランスの状態を固定します。詳しくはホワイトバランスについてをご参照ください。

注) 「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、本メニューはパスされます。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」「ON」「OFF」…と遷移します。

MODE : 設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。 68ページへ

[ホワイトバランスについて]

■ ホワイトバランス（色調節）は下記の動作モードが選択できます。

[AUTO] : 連続自動追従調節（標準モード）

[LOCK] : 自動調節後、固定

[MANU] : 手動調節

- [AUTO] は自然光のように照明条件（色温度）が時間的に変化するような時に、自動的に色バランスを追従調節します。自然光でなくとも通常の設置条件の場合は自動的に色バランスが得られますので、特に色調節を必要としません。
- オートホワイトバランスは被写体の色成分の平均値を常に監視し、平均値が白になるよう自動制御を行っています。従って単一色の被写体を画面一杯に映した場合、色が退色（うすくなる）場合があります。このような問題がある場合には画面全体に白被写体を映してオートホワイトバランスを得た後、[LOCK]を選択すると、以後は色パラメータが固定され、被写体の条件に左右されなくなります。この方法は照明条件が変化しない環境において最適な色調節と被写体に左右されないホワイトバランスが簡単に得られる方法です。
- [LOCK]よりも厳密なホワイトバランスを必要とする場合は、[MANU]によりベクトルスコープ等の測定器を使用してホワイトバランスを設定してください。この場合は照明条件が変動しないことが条件となります。照明条件が変わった場合は再設定が必要です。
- 特殊な光源（水銀灯など）の場合は色再現性が悪くなる場合があります。

「C LEVEL」メニュー

「3.COLOR」メニューで「C LEVEL」を選択します。

色の濃さを設定することができます。

H方向で色が濃く、L方向で色が薄くなります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。 68ページへ

「SUPPRESS」メニュー

「3.COLOR」メニューで「SUPPRESS」を選択します。

暗い場所を撮影してカメラの感度が上がった時、色ノイズを低減するため色を自動的に薄くする処理を入れています。H方向で色を薄くする効果が強く、L方向で色を薄くする効果が弱くなります。

スイッチ説明

UP : H方向に が移動します。

DOWN : L方向に が移動します。

MODE : 設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。 68ページへ

「SCENE FIT」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「4.SCENE FIT」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
                S C E N E   F I T

デイリグチ      U S E R 1
パーキング     U S E R 2
エキホーム     U S E R 3
ロウカ         A T M

E X I T
```

本機能は、撮影場所に応じて各メニュー調整値を最適になるよう記憶しておく機能です。あらかじめ用意されているメニューの設定内容5パターン（下記参照）と、さらにユーザが任意に設定した内容を3パターン記憶でき、計8パターンの設定内容から任意の内容を選択することが可能です。現在の設定シーンの左隣に「▶」マークが表示されます。「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」は選択後、各設定メニューで変更することもできます（変更された内容は自動的に記憶されます）。また、初期的に「USER1」～「USER3」は、工場出荷時設定が登録されています。「USER1」～「USER3」のいずれかを選択後、各設定メニューで変更すると、その設定値が自動的に記憶されます。変更した内容は、電源を切っても消去されません。設定内容を初期化したい場合は、「INITIAL」メニュー（P.28）で行ってください。「USER1」～「USER3」の表示は、設定によって任意の文字列を12文字まで登録可能です。「USER1」～「USER3」メニューで「ID」を選択後、「ID SET」項目でIDを設定してください。

下記のパターンは、それぞれの場所への設置に適しています。

- ・デイリグチ : 建物の出入口のように、出入者が逆光の影響で黒つぶれを起こしてしまうような場所
- ・パーキング : 駐車場のよう、夜間撮影時に動きのある被写体を撮影したい場所
- ・エキ ホーム : 駅のホームのように、明暗がはっきり分かっているような場所
- ・ロウカ : 廊下のように、蛍光灯照明で奥行きがあり、遠くが暗くなっているような場所
- ATM : ATMのように、逆光で顔が暗くなってしまうような場所

スイッチ説明

UP : 文字の反転表示は以下のように遷移します。

…「デイリグチ」 「パーキング」 「エキ ホーム」 「ロウカ」 「EXIT」 「USER1」

「USER 2」 「USER 3」 「ATM」 「EXIT」 「デイリグチ」 …

DOWN : 文字の反転表示は以下のように遷移します。

… 「EXIT」 「ATM」 「USER3」 「USER2」 「USER1」 「EXIT」 「ロウカ」 「エキ ホーム」 「パーキング」 「デイリグチ」 「EXIT」 …

MODE : 「EXIT」反転表示の場合、メニュー画面を終了します。

文字の反転表示が「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」のとき、左隣に「▶」マークがない場合、登録されている各設定シーンを読み込んで「▶」マークを表示します（それまで表示されていた「▶」マークは消灯します）。

左側に「▶」マークがある場合、反転表示を「EXIT」に遷移します。

文字の反転表示が「USER1」～「USER3」のとき、左隣に「▶」マークがない場合、設定値を記憶して（登録されている設定内容を読み込んで）「▶」マークを表示します。（それまで表示されていた「▶」マークは消灯します）。左隣に「▶」マークがある場合、以下の「USER *」メニューに遷移します。

（「*」：1～3の数字）

「USER *」メニュー

S C E N E F I T

デ イ リ グ チ	U S E R 1	I D
パ キ ン グ	U S E R 2	
エ キ ホ ム	U S E R 3	
ロ ウ カ	A T M	
E X T		

「4.SCENE FIT」メニューで「USER *」を選択すると、下記のように右側に「ID」が表示されます。

IDの表示内容を変更したい場合、「ID」を選択します。尚、「ID SET」項目で登録したIDが「USER*」の位置へ表示されます。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「USER*」 「ID」 「USER*」 …と遷移します。

MODE : 「USER*」反転時、現在の設定文字列を記憶して（登録されている設定内容を読み込んで）文字反転表示を「EXIT」に遷移します。（このとき「ID」の表示は消えます）
「ID」反転時、「ID SET」項目に遷移します。（「*」：1～3の数字） 86ページへ

「MASKING」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「5.MASKING」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

M A S K I N G

M 1      O F F
M 2      O F F
M 3      O F F

E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

M1,M2,M3 : 88ページ

「M1」「M2」「M3」メニュー

「5.MASKING」メニューで「M1」「M2」「M3」を選択します。

マスキング表示の ON/OFF 設定を行います。

3箇所のマスキング表示 (M1,M2,M3) をそれぞれ独立して設定可能です。

[OFF] : マスキングの表示を行いません。

[ON] : マスキングの表示を行います。

スイッチ説明

UP / DOWN : 「OFF」の表示が、ボタン押下毎に… 「ON」「OFF」「ON」…と遷移します。

MODE : 「OFF」表示時、設定を記憶し「5.MASKING」メニューに戻ります。 87ページへ
「ON」反転時、「ON」メニューに遷移します。 88ページへ

マスキングはM1,M2,M3 とともに同じグレー表示であることから、複数表示のときに現在設定されているマスキングを判別するため、本メニューでONの時は該当マスキングの点滅表示を行います。

(1秒毎に表示 / 非表示を繰り返す)

「ON」メニュー

「M1」「M2」「M3」メニューで「ON」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

(下記はM1をONにした場合の表示)



マスキングの位置、サイズを変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「ON」「SET」「ON」…と遷移します。

MODE : 「ON」反転時、「5.MASKING」メニューに戻ります。 87ページへ
「SET」反転時、「M* WINDOW」メニュー(*は1~3の数字)に遷移します。

89ページへ

マスキングはM1,M2,M3 とともに同じグレー表示であることから、複数表示のときに現在設定されているマスキングを判別するため、本メニューでONの時は該当マスキングの点滅表示を行います。

(1秒毎に表示 / 非表示を繰り返す)

「M* WINDOW」メニュー

「ON」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます（*は1~3の数字）。

```
      M *   W I N D O W

      W   D T H   H           * *
      W   D T H               * *

      L O C A T E   H       * *
      L O C A T E           * *

      E X I T
```

各項目にて M1, M2, M3 の各マスクングの位置、サイズを設定します。詳しくは、「マスクング機能について (P.91)」をご参照ください。

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

選択された項目は反転表示されます。

「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「5.MASKING」メニューに戻ります。 87ページへ

UP、DOWN ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H : 90ページ

WIDTH V : 90ページ

LOCATE H : 90ページ

LOCATE V : 90ページ

「WIDTH H」項目

水平方向のマスキングのサイズを設定します。設定値の増減により、マスキングのサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Hの**が1 40まで変化します。

DOWN : WIDTH Hの**が40 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。 89ページへ

「WIDTH V」項目

垂直方向のマスキングのサイズを設定します。設定値の増減により、マスキングのサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Vの**を1 30まで変化します。

DOWN : WIDTH Vの**を30 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。 89ページへ

「LOCATE H」項目

水平方向のマスキングの位置を設定します。設定値の増減により、マスキングの位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Hの**を1 40まで変化します。

DOWN : LOCATE Hの**を40 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。 89ページへ

「LOCATE V」項目

垂直方向のマスキングの位置を設定します。設定値の増減により、マスキングの位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Vの**を1 30まで変化します。

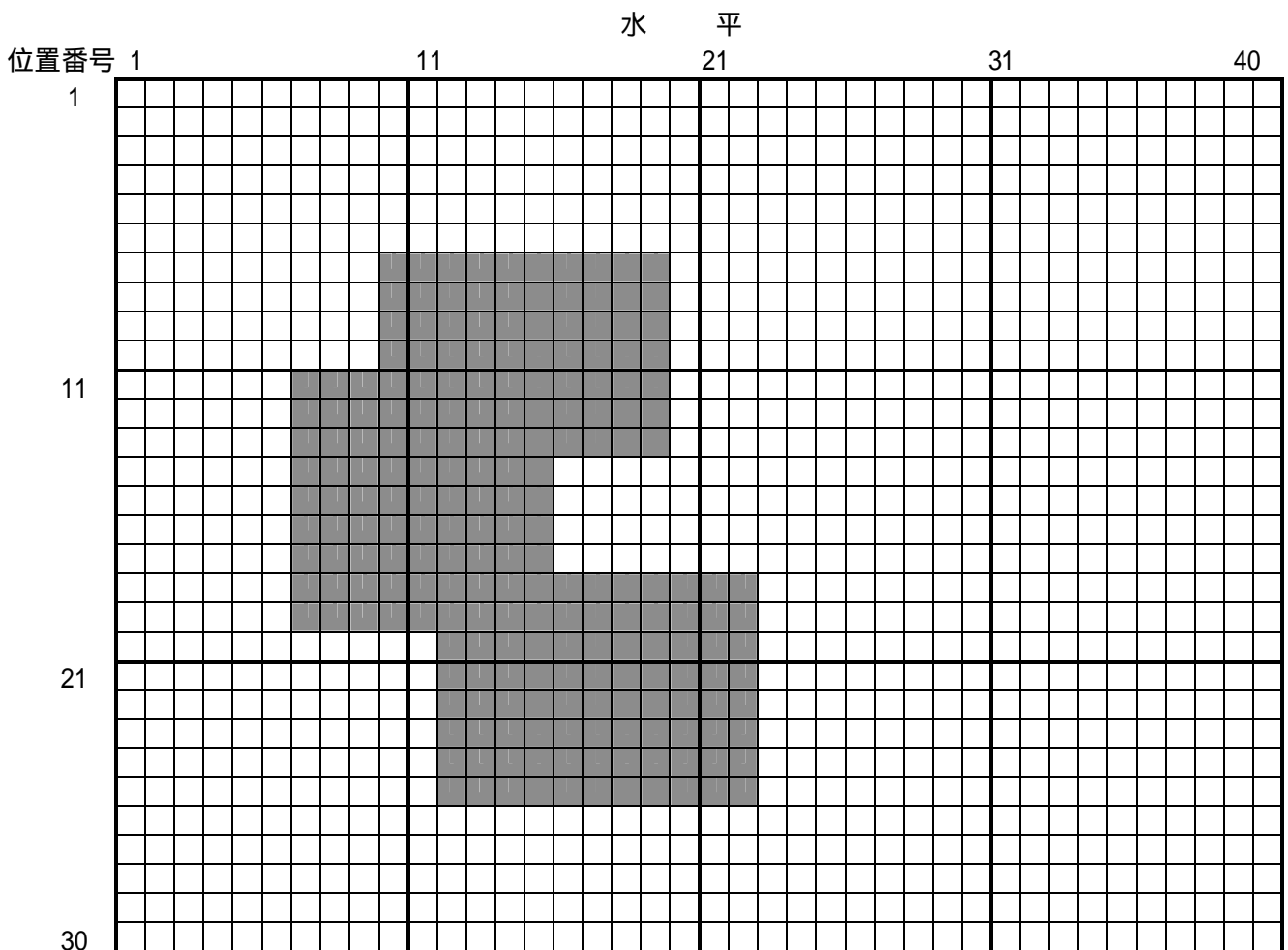
DOWN : LOCATE Vの**を30 1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。 89ページへ

[マスキング機能について]

- マスキング機能とは、画面上で表示を隠したいエリアをグレー表示することで、画面のマスキングを行う機能です。監視画角にプライバシーや機密に関するものが映ってしまうような場合、本機能を使って画面をマスキングすることでプライバシーや機密を守ることができます。
- マスキング表示は、画面上の40（水平）×30（垂直）に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」ではマスキングの右下角を移動して大きさを、「LOCATE」ではマスキングの左上角を移動して位置を設定します。
- マスキング表示は、最大3箇所まで表示することができます。それぞれのマスキングは独立して設定可能で、重ねて表示を行うことも可能です。1つのマスキング形状は四角ですが、重ねて表示することで様々な形を設定することができます。

マスキング設定例（画面上にはマスや位置番号は表示されません。）



設定エリア : (グレーで表示されます。)

- 例 :
- M1 サイズ設定（水平、垂直） = (10 , 7)
 - M1 位置設定（水平、垂直） = (10 , 7)
 - M2 サイズ設定（水平、垂直） = (9 , 9)
 - M2 位置設定（水平、垂直） = (7 , 11)
 - M3 サイズ設定（水平、垂直） = (11 , 8)
 - M3 位置設定（水平、垂直） = (12 , 18)

「SPECIAL」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「6.SPECIAL」を選択すると、下記の画面が表示されます。

P A S S W O R D

* * * *

N E X T

R T N

パスワード「1192」を入力することで、アイリス速度の設定メニュー（MICREF）に入ることができます。アイリスの反応が遅い場合、アイリスがハンチングを起こす場合は、本メニューの設定で回避することができます。

パスワード入力スイッチ説明

UP : 反転表示されている*を0～9まで変化します。9の場合は0に遷移します。

DOWN : 反転表示されている*を9～0まで変化します。0の場合は9に遷移します。

MODE : *の反転表示を1つ右隣に遷移します。*の反転表示が一番右隣の場合は、NEXTを反転表示してNEXT/RTN選択に遷移します。

NEXT/RTN 選択スイッチ説明

UP / DOWN : 反転表示を「NEXT」「RTN」「NEXT」…と遷移します。

MODE : 「RTN」反転時、パスワード入力画面に戻ります。
「NEXT」反転時、入力数字が「1192」であれば「MICREF」メニューに、それ以外であればメニューを終了します。

「MIC SPEED」メニュー

「PASSWORD」メニューでパスワード「1192」を入力して NEXT を選択すると、下記の画面が表示されます。

M I C S P E E D



アイリスの速度を設定することができます。設定値が大きいほどアイリスが速く、小さいほど遅く動作します。アイリスの反応が遅い場合は設定値を大きく、アイリスがハンチングを起こす場合は設定値を小さくすることで、アイリス動作を最適化することができます。

入力スイッチ説明

UP : 反転表示されている ** を 0 15 まで変化します。

DOWN : 反転表示されている ** を 15 0 まで変化します。

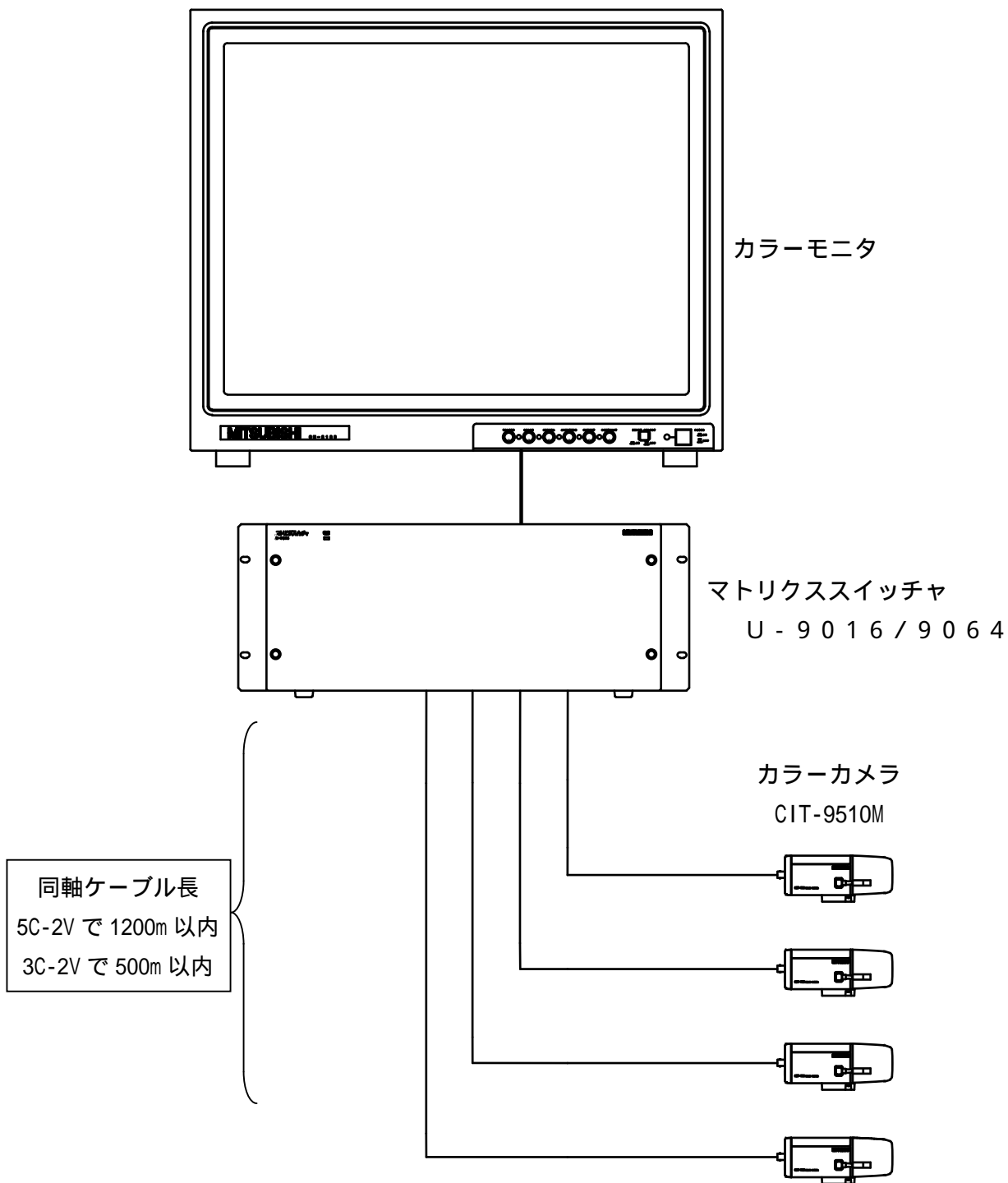
MODE : 設定値を記憶してメニュー画面を終了します

注) 本設定を大きい値に設定した場合、アイリスがハンチングを起こす場合があります。小さい値に設定した場合、アイリスが途中で停止する場合があります。

注) 本設定は、INITIAL 処理 (P28) を行っても初期化されませんのでご注意ください。工場出荷設定は「4」です (使用レンズについて (P10) に記載されているレンズに最適化されています)。

接続のしかた

[マトリクススイッチャと接続する場合]



- カメラとマトリクススイッチャの間は5C-2V(3C-2V)で1200m(500m)以内で、接続してください。最大ケーブル長を超えて接続しますと、同軸ワンラインを通じての制御等が行えなくなります。
- カメラとマトリクススイッチャの間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなります。

CCDの傷について

- CCDは宇宙線の影響により、まれに白傷が発生することが報告されております。定量的データはまだありませんが、高度の高い地点での設置、航空機によるCCD（セット含む）輸送により発生頻度が高くなる事が確認されておりますので極力航空機による製品輸送は避けてください。
- 現時点でこれを防ぐ有効な手段はありません。本機はS/Wによる白傷補正を行っており、従来機種に比べ、白傷は改善されておりますが、細かな傷等が残る場合があります。白傷により運用上の弊害が発生した場合はCCD交換を推奨いたします。（有料）

お手入れのしかた

- 電源を切ってからお手入れをしてください。
- 汚れがひどいときは、水で十分うすめた中性洗剤で拭いてください。
- 水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は電源を切ってからサービスをお申しつけください。

- 各ユニットの電源プラグがはずれていませんか？
- 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？
- モニタの電源スイッチはONになっていますか？

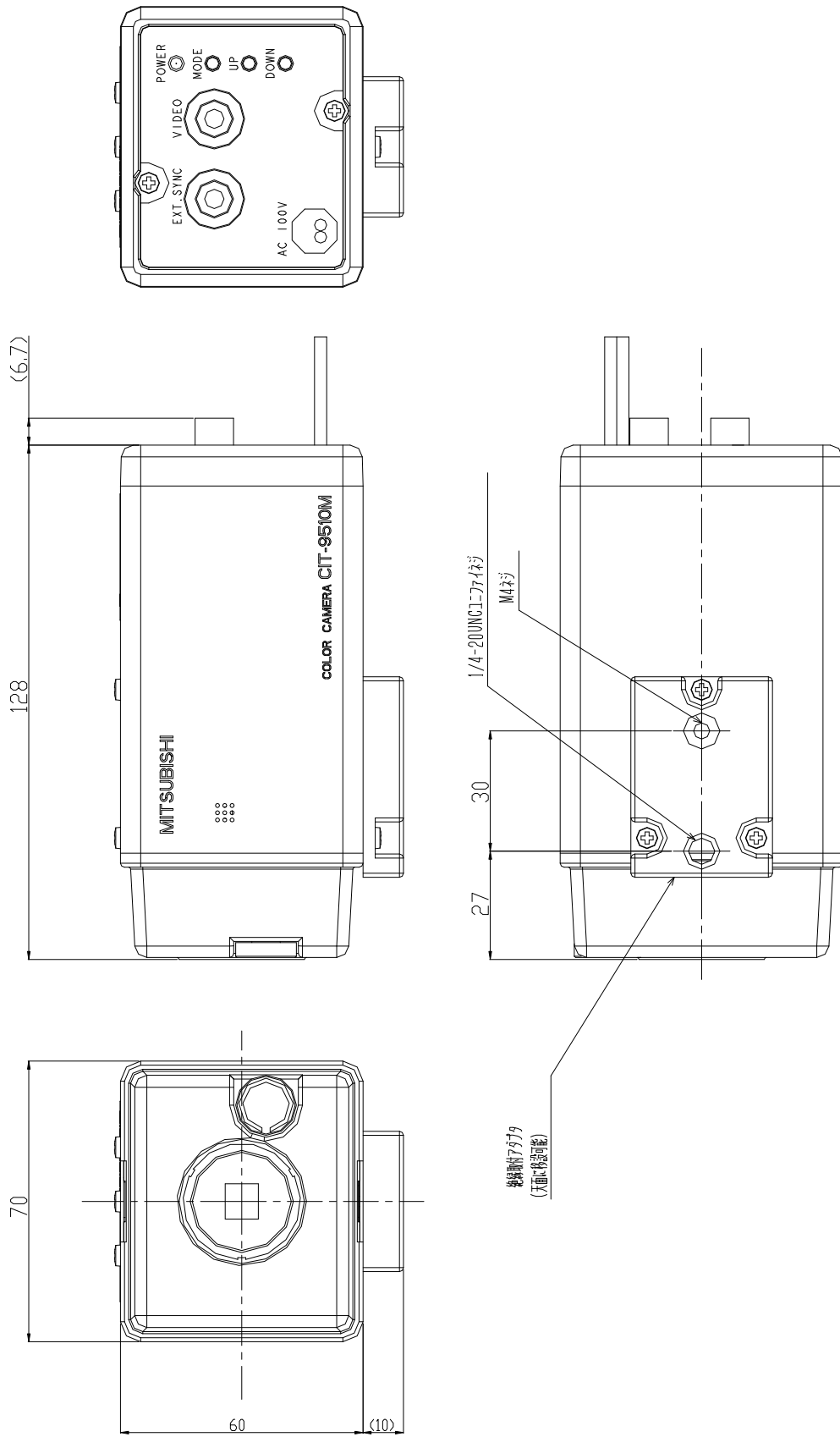
保証とアフターサービス

- 1 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。
- 2 保証規定
 - (1) 保証期間内（お買上げ日より1年間）に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - (2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他天災地変などによる故障及び損傷。
 - 特殊環境（たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など）による故障及び損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
- 3 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後7年です。（性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。）詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

仕様

撮像素子	1/3 型インターライン転送方式 C C D
有効画素数	768(H) × 494(V) ...約 38 万画素
走査方式	2:1 インターレース
走査周波数	水平 15.734[kHz] 垂直 59.94[Hz]
同期方式	内部同期 / 外部同期 外部同期入力は 2 種類自動切換 【 1 】 VS 又はコンポジットシンク入力 (B N C コネクタ入力) 【 2 】 映像信号多重 (マトリクススイッチャ相当品間より供給)
映像出力	複合映像信号 1.0[Vp-p/75] (B N C コネクタ)
解像度	標準時 水平 : 480 本以上 垂直 : 350 本以上 電子増感時 水平 : 460 本以上 垂直 : 260 本以上
S/N 比	50[dB]以上 (AGC OFF 時)
ダイナミックレンジ	スーパーファインビュー (SFV) 機能あり
電子ズーム	2 倍
電子シャッター	1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 [s]
電子増感	標準感度 (1/60) の 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 20, 40[倍] 自動 / 手動 切換
最低被写体照度	カラーモード時 : 0.8[lx] (F1.4, 1/60 s) 0.02[lx] (F1.4, 電子増感 40 倍) 白黒モード時 : 0.08[lx] (F1.4, 1/60 s) 0.002[lx] (F1.4, 電子増感 40 倍)
最大伝送距離	1.2[km] マトリクススイッチャ相当品間、5C-2V 使用時
使用温度、湿度	-10[] ~ +50[], 80[%RH]以下 (但し、結露しないこと)
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz
消費電力	約 6 W
E E レンズ駆動出力	D C 駆動出力のみ (JEITA RC-5204 準拠)
レンズマウント	C S マウント
フリッカ補正機能	有り
リモコン機能	マトリクススイッチャ相当品により各種機能設定可能 (映像出力ケーブルに多重)
外部同期位相調節機能	H 位相 24 段階
逆光補正機能	有り (エリア選択式)
ピーク測光機能	有り
グラデーション機能	ガンマ、ニー、セットアップ、ホワイトクリップが設定可能
カメラ I D 表示機能	有り (カナ・英数字・記号 12 桁、表示位置を 6 カ所から選択可能)
マスキング機能	有り (最大 3 箇所)
ホワイトバランス	自動 / 手動 / ロック
エリア選択式 AWB 機能	有り
カラー / 白黒切換	自動 / 手動 切換
イーजीフィッティング	有り
音声入力	マイク内蔵 (映像出力ケーブルに多重出力)
構造	IP30 (JIS C 0920 屋内形)
質量	約 500[g] (電源ケーブル含まず)
塗装色	マンセル 5Y 8/1 (5 分ツヤ) 相当
外形寸法	70(W) × 60(H) × 166(D) [mm] (レンズカバー含む) 70(W) × 60(H) × 128(D) [mm] (レンズカバー含まず)

外形図



形名	CIT-9510M	製造番号	
お客様様	お客様 様		
	ご住所 〒	-----	
保証期間	TEL		
	年 月 日 から 1 年間	販売店住所・店名	印 または サイン
		TEL ()	

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、保証規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

コミュニケーション・ネットワーク製作所
郡山工場 TEL(024)932-1220(大代表)
〒963-8586 福島県郡山市栄町2番25号